

令和6年度 一般会計決算附属資料

教育委員会事務局 主要な施策の成果

予算科目	款	06 農林水産業費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 農業費	9,241千円		9,619千円	378千円	96.0 %		
	目	02 農業総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	03 アグリセンター管理運営事業					7,018千円		
基本計画		02 6次産業化・ブランド化で農林業を振興	主な財源	使用料	アグリセンター使用料				1,608千円
				諸収入	アグリセンター光熱水費等負担金				120千円
目的		農業・農村の活性化を目的に設置したアグリセンター大宮を、地域づくり、農業経営体及び地域リーダーの育成、さらには地域住民の福祉や健康の増進を目的とした各種イベントや講演会などに有効活用できるよう適切に維持管理する。							
主要な事務・事業の概要	○需用費		5,806千円		〈利用状況〉				
	・消耗品費（トイレトーパー、蛍光灯ほか）		64千円		区 分				
	・燃料費（ガス、灯油）		984千円		利用回数				
	・印刷製本費（利用申請書）		37千円		利用人数				
	・光熱水費（電気、上下水道代）		2,394千円		農業技術研修室				
	・修繕料（施設設備）		2,327千円		298 回				
	○役務費		49千円		7,596 人				
	・通信運搬費（FAX使用料）		33千円		視聴覚教育室				
	・廃家電処理手数料		16千円		635 回				
	○委託料		3,373千円		15,489 人				
施設清掃業務、アグリセンター管理業務		}		地域活性化研修室（和室）					
設備保守管理業務、移動観覧席点検業務、空調設備保守業務				592 回					
自動ドア保守点検業務、特定建設備定期点検等業務				10,781 人					
害虫駆除業務、消防設備等点検業務				225 回					
○使用料及び賃借料（テレビ受信料）		6千円		15,334 人					
○償還金、利子及び割引料（センター使用料還付金）		7千円		多目的ホール（エントランス含む）					
				225 回					
				調理加工実習室					
				61 回					
				2,126 人					
				合 計					
				1,811回					
				51,326 人					
				※前年度利用状況 1,254回、23,589人					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	3,852千円		3,888千円	36千円	99.0 %		
	目	01 教育委員会費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	50 教育委員会一般経費					4,024千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて設置されている教育委員会の委員活動や研修等を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○教育委員報酬（4人）		3,493千円						
	・報酬		3,456千円						
	教育委員 月額72千円×12月×4人								
	・費用弁償		37千円						
	教育委員会（定例会、臨時会、協議会）、総合教育会議								
	○教育委員視察研修等経費		83千円						
管外視察、京都府市町村教育委員会定期総会、研修会ほか									
・費用弁償		58千円							
・駐車場使用料、有料道路使用料		25千円							
○丹後地方教育員会連合会負担金		276千円		成果・課題	○管内視察をはじめ先進地視察を実施し実情の把握に努め、積極的な活動を行うことにより幅広い識見を得ることができた。 ○教育課題や重要施策等に対処するため、委員協議会を開催し、調査・研修及び意見交換を行うことができた。 ○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、今後も研修機会及び管内視察等の充実を図る必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	01 教育総務費	15,919千円		16,099千円	180千円	98.8 %																	
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課															
	事業	03 指導主事設置事業					15,242千円																	
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																				
目的	学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。																							
主要な事務・事業の概要	4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性で見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。 【地域担当指導主事 4人】 ○会計年度任用職員任用経費 ○市内業務移動に係る費用弁償 ○消耗品費（ファイル等事務用品）			15,716千円	【地域担当指導主事配置状況】 <table><tr><th>配置先</th><th>配置人数</th><th>所管町域</th></tr><tr><td>峰山地域公民館</td><td>1人</td><td>峰山町</td></tr><tr><td>大宮地域公民館・久美浜地域公民館</td><td>1人</td><td>大宮町、久美浜町</td></tr><tr><td>網野地域公民館</td><td>1人</td><td>網野町</td></tr><tr><td>丹後地域公民館・弥栄地域公民館</td><td>1人</td><td>丹後町、弥栄町</td></tr></table>					配置先	配置人数	所管町域	峰山地域公民館	1人	峰山町	大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町	網野地域公民館	1人	網野町	丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町
										配置先	配置人数	所管町域												
										峰山地域公民館	1人	峰山町												
										大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町												
										網野地域公民館	1人	網野町												
丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町																						
			198千円																					
			5千円																					
			成果・課題	学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。																				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	18,798千円		18,800千円	2千円	99.9 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 学校医委嘱事業					18,980千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校保健安全法に基づき、学校における保健管理に関する学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を全ての小学校及び中学校に置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○学校医（計11人）		8,128千円						
	【学校数：22校、児童生徒数：3,440人（R6.5.1時点）】								
	・報酬	8,120千円							
	・費用弁償	8千円							
	○学校歯科医（計12人）		8,126千円						
	【学校数：22校、児童生徒数：3,440人（R6.5.1時点）】								
	・報酬	8,120千円							
	・費用弁償	6千円							
	○学校薬剤師（計8人）		2,544千円						
	・報酬	2,526千円							
1校目（8校）		154,000円		成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。				
2校目（14校）		92,400円（154,000円×60%）							
・費用弁償	18千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,656千円		4,721千円	65千円	98.6 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	05 学務経費					4,874千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○就学時健康診断（受診人数：325人） （医師謝金、費用弁償、感染症対策用消耗品費等）		694千円		○（独）日本スポーツ振興センター共済掛金 （小学生2,302人、中学生1,138人） 3,204千円				
	○学務経費 ・健康管理票作成等（消耗品費、印刷製本費） ・学齢簿関連システム保守委託料 ・人権教育研究会活動に係る資料代（消耗品費） ・各中学校区での特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） 峰山学園（開催日：10月21日（月）、参加者数：37人） 大宮学園（開催日：6月12日（水）、参加者数：49人） 網野学園（開催日：10月3日（木）、参加者数：46人） 丹後学園（開催日：11月13日（水）、参加者数：16人） 弥栄学園（開催日：12月3日（火）、参加者数：8人） 久美浜学園（開催日：10月23日（水）、参加者数：29人） ・事務用品（ファイルほか）		484千円 19千円 317千円 22千円 44千円 82千円		○その他負担金 京都府学校保健会、京都府学校保健主事会、 京都府特別支援教育研究協議会、教育研究事業、 教科用図書選定協議会の各負担金 274千円				
								成果・課題	
								○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,368千円		5,672千円	304千円	94.6 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	9,405千円	
	事業	06 学校安全対策事業							
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3） 731千円				
					諸収入 市有自動車損害共済金 98千円				
目的	児童生徒が被害者となる事件等を未然に防ぎ、子どもたちの安全を確保するため、子ども安心パトロール車を配置、運行する。 また、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備するためスクールガード・リーダーを配置し、登下校時の巡回指導や安全確保、被害防止対策を講じるとともに、通学路の安全を確保するため、除雪機を配置する。								
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理 3,551千円			【にこにこカー配車一覧】					
	各学校に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。								
	・燃料費（ガソリン代） 943千円								
	・修繕料（車検ほか） 2,192千円								
	・手数料・保険料・公課費 416千円								
成果・課題	○学校の除雪活動 409千円								
	積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。								
	・保険料（ボランティア活動保険・登録者数11人） 2千円								
	・修繕料（除雪機9台） 407千円								
	○スクールガード・リーダー巡回・指導 1,408千円								
警察官OBの4人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 【年間巡回活動等の実績：4人で264回】									
・報償金（活動謝金） 1,405千円									
・保険料（総合補償保険料） 3千円									
			○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童・生徒の安全につながっている。 ○関係機関と協力し、クマやサルなどの野生動物の出没情報をいち早く学校と共有し、児童・生徒への被害を未然に防ぐ必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、道路管理者等関係機関と連携し除雪体制を推進する必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	436千円		445千円	9千円	97.9 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	07 就学支援・教育相談事業					445千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	児童生徒の問題行動、心身の悩みや不登校等に対応するため、臨床心理士による教育相談を実施するとともに、児童生徒を指導、支援する教職員に対し、各種研修を行う。 また、児童生徒の特性に応じた教育支援を適切に行うため、発達検査を実施し、児童生徒の特性の理解や支援の手がかりとする。								
主要な事務・事業の概要	各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適應の未然防止や解消に向けての対応の在り方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。 ○教育相談事業 ・相談場所 大宮庁舎及び各小中学校 ・教育相談の実施者 臨床心理士（教育委員会事務局学校教育課所属） ・実施回数 毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校） 合計168回実施 ・相談件数 延べ189件 ○研修事業 ・教育相談担当者研修 教職員22人 年3回 ・事例研修 教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校）				○教育支援に係る発達検査の実施 436千円 ・消耗品費 179千円 知能検査記録用紙（WISC-IV、日本版KABC-II）ほか ・ソフトウェア使用料 257千円 WISC-V検査コンプリートセット（4台）				
					成果・課題	○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、適切な支援へとつながり、児童生徒の学校適応が推進された。 ○様々な取組の成果により、小中学校ともに不登校出現率がやや減少（R5年度比：小学校2割減、中学校0.6割減）しており、効果のあった取組について分析を進め、それらの取組を重点的に実施していく必要がある。 ○学校活動が平常化し、子どもたちの交流が活発になる中、コミュニケーションスキルを高めるための教育プログラムの実施や、相談窓口の周知徹底などの対応を確実に進めていく。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	01 教育総務費	15,942千円		16,048千円	106千円	99.3 %														
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課												
	事業	08 教育支援センター管理運営事業					15,225千円														
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）			1,041千円												
			府補		教育支援体制整備事業費補助金（1/3）			19千円													
			繰入金		ふるさと応援基金繰入金			8,000千円													
目的		心理的要因等による不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、所属校や保護者との信頼関係のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充及び基本的生活習慣の改善など、個々の状況に応じて段階的に支援することにより、将来の社会的自立を目指す。																			
主要な事務・事業の概要	不登校やその傾向にある児童生徒について、個々の状況をふまえ、多様な学びの機会をとおして、社会的自立の基盤となる自己肯定感や自己有用感が育める居場所として教育支援センター「麦わら」を設置																				
	○会計年度任用職員任用経費（6人分）		15,351千円		＜教育支援センター運営体制・実績＞																
	○消耗品費		111千円		・配置人数 6人 教育支援センター支援員（会計年度任用職員）																
	○管理経費（燃料費、修繕費）		144千円		・配置体制 1日当たり3～4人（各支援員 週3日 1日7時間）																
	○役務費（通信運搬費、自動車登録手数料、損害保険料ほか）		148千円		・通所児童生徒数 17人（小学生8人、中学生9人）																
	○使用料及び賃借料（コピー機借上料）		163千円		・相談延べ件数 858件																
	○備品購入費（図書）		20千円		・来所延べ人数 1,119人																
	○公課費（自動車重量税）		5千円		・延べ訪問回数 36回																
					<table><tr><td>年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>通所利用登録者</td><td>21人</td><td>15人</td><td>13人</td><td>17人</td><td>17人</td></tr></table>					年度	R2	R3	R4	R5	R6	通所利用登録者	21人	15人	13人	17人	17人
	年度	R2	R3	R4	R5	R6															
通所利用登録者	21人	15人	13人	17人	17人																
				教育支援センター（峰山町杉谷）の開設は、平成25年1月31日。																	
				成果・課題	○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会的自立を図ることができた。 ○市内の中学校の不登校生徒が増加していることから、府配置のスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																	
	項	01 教育総務費	5,720千円		5,826千円	106千円	98.1 %																			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																	
	事業	09 地域学校協働本部事業					6,256千円																			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）				1,344千円																	
				府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）				755千円																	
目的		「ふるさとへの愛着と誇りを持ち、新しい価値を創りだす力をはぐくむ教育」の推進に向け、「学校のニーズ」と「地域の人々の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域等が協力して子どもを育む環境の充実を図るため、学校と地域等をつなぐコーディネーターを配置する。																								
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として市立学校園に派遣し、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。また、より学校・地域がよりスムーズに連携するため、人材バンクの構築準備を行った。 ○地域コーディネーター配置（4人）2,649千円 ・地域コーディネーター謝金及び費用弁償 ○探究コーディネーター配置（1人）2,707千円 ・会計年度任用職員任用経費 ○広報紙の発行（年2回：ボランティア募集、活動報告）294千円 ・印刷製本費 ○消耗品費70千円 <活動概要> ・活動内容 学校のニーズに応じた学校支援ボランティアの派遣 ・実施場所 市内全小学校（16校）、中学校（6校）、市立認定こども園（6園） ・ボランティア登録者数 678人（令和6年度新規登録者数33人） ※ボランティアの登録状況（令和7年3月末現在） <table><tr><td>町域</td><td>峰山</td><td>大宮</td><td>網野</td><td>丹後</td><td>弥栄</td><td>久美浜</td><td>市外</td><td>合計</td></tr><tr><td>人数</td><td>158人</td><td>95人</td><td>181人</td><td>84人</td><td>76人</td><td>69人</td><td>15人</td><td>678人</td></tr></table>			町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計	人数	158人	95人	181人	84人	76人	69人	15人	678人	【ボランティア活動の内容等】				
				町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計														
				人数	158人	95人	181人	84人	76人	69人	15人	678人														
				・学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等）																						
				・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等）																						
				区域			活動日数		活動人数（延べ）																	
				峰山学園			547日		2,588人																	
				大宮学園			172日		241人																	
				網野学園			784日		3,944人																	
				丹後学園			146日		288人																	
弥栄学園			167日		223人																					
久美浜学園			447日		3,230人																					
合計			2,263日		10,514人																					
成果・課題		○教科指導補助や部活動支援、環境整備など、全ての市立学校園にボランティア派遣を実施することで、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育む教育環境の充実を図った。 ○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがいがいづくりになっている。 ○学校活動の多様なニーズを把握するとともに、それに対応するボランティアを確保し、ニーズを充足する活動を行うことが必要である。																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																							
	項	01 教育総務費	591千円		595千円	4千円	99.3 %																									
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額																									
	事業	10 学習支援体制整備事業					659千円	課	学校教育課																							
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	府補 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）389千円																														
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、生徒と保護者のニーズを踏まえ、放課後を活用した子どもたちの学びを支援する教育活動を実施する。		主な財源																													
主要な事務・事業の概要	○中学生の放課後学習支援（講師謝金、費用弁償、消耗品費）591千円 放課後を活用した学習を希望する生徒を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。																															
	<table><tr><td>学校名</td><td>回数</td><td>参加者数（延べ）</td></tr><tr><td>峰山中学校</td><td>15回</td><td>41人</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>18回</td><td>801人</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>20回</td><td>302人</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>34回</td><td>533人</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>24回</td><td>303人</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>50回</td><td>1,595人</td></tr><tr><td>計</td><td>161回</td><td>3,575人</td></tr></table>		学校名	回数	参加者数（延べ）	峰山中学校	15回	41人	大宮中学校	18回	801人	網野中学校	20回	302人	丹後中学校	34回	533人	弥栄中学校	24回	303人	久美浜中学校	50回	1,595人	計	161回	3,575人						
	学校名	回数	参加者数（延べ）																													
	峰山中学校	15回	41人																													
大宮中学校	18回	801人																														
網野中学校	20回	302人																														
丹後中学校	34回	533人																														
弥栄中学校	24回	303人																														
久美浜中学校	50回	1,595人																														
計	161回	3,575人																														
※時期・回数・時間等計画内容は、学校によって異なる。																																
		成果・課題	中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習を行うことができた。																													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	3,144千円		3,155千円	11千円	99.6 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	11 学校跡施設管理事業					2,831千円			
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入	旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金			287千円	
					諸収入	旧橘小学校施設光熱水費利用負担金			43千円	
目的	学校再配置により閉校となった学校跡施設の適切な維持管理を行う。									
主要な事務・事業の概要	○学校跡施設等修繕料（5施設）			584千円	○工事請負費					383千円
	屋外スピーカー撤去、消防設備、消火水槽の修繕等、施設の適正管理を図った。				旧吉野小学校漏水修繕					
	修繕施設： 旧丹波小学校、旧大宮第三小学校、旧豊栄小学校 旧海部小学校、旧川上小学校									
	○手数料			85千円						
	貯水槽法定検査、浄化槽法定検査、水道開閉栓、低濃度PCB分析									
○光熱水費			1,065千円							
旧橘小学校、旧宇川中学校										
○委託料			1,027千円	成果・課題	学校跡施設の民間による利活用を進めることができた。また、施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。					
貯水槽等保守点検、雑木伐採、除草作業、グリストラップ処理 浄化槽維持管理、遊具点検、消防設備等保守、電気設備保守										

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	2,552千円		2,554千円	2千円	99.9 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	12 学校教育施設整備基金					1,693千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入 土地建物貸付収入 2,543千円				
					財産収入 学校教育施設整備基金利子収入 9千円				
目的		学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金に積み立てるもの。							
主要な事務・事業の概要	○学校教育施設整備基金積立金 2,552千円								
	建物賃貸借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる								
	・旧大宮第三小学校分 302千円								
	・旧三津小学校分 1,326千円								
・旧橘小学校分 109千円									
・旧豊栄小学校 806千円									
・基金利子分 9千円									
(単位：千円)									
令和5年度末現在高		令和6年度中増減額			令和6年度末現在高				
①		繰入金	運用利子	積立金	①-②+③+④				
10,361		0	9	2,543	12,913				
					成果・課題				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,177千円		6,068千円	891千円	85.3 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	13 保幼小中一貫教育推進事業						6,356千円	課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		府補	きょうと地域連携交付金（保幼小中一貫教育推進事業）				2,400千円	
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指すより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。			主な財源					
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償） ・委員 15人（学識経験者、PTA役員、学校教職員等） ・開催回数 2回（12月・3月） ・調査研究内容 保幼小中一貫教育実施校における効果と課題の整理		86千円		○教育フォーラムの開催（講師謝金、消耗品費） 開催日： 令和7年1月19日（日） ・場所 アグリセンター大宮 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者、一般参加者 参加者：168人 講 師： 細田 眞由美 氏（前さいたま市教育長） 内 容： 先進的な地域の実践から学び、考える「これからの本市教育のあり方」				
	○丹後学モデルカリキュラム改訂（委員謝金、費用弁償） ・委員 12人（教職員、地元有識者等） ・開催回数 5回（5・6・7・10・1月）		32千円	○特色ある学校づくり、保幼小中連携の取組（各中学校区単位） ・郷土学習、環境学習、農業体験、人権学習等の特色ある学校づくりの取組					
主要な事務・事業の概要	○学力向上対策会議研修会（講師謝金、費用弁償） 開催日： 令和6年10月28日（月） ・場所 かぶと山小学校 対 象： 市内小中学校教員、教育関係者 参加者：約60人 講 師： 樋口 万太郎 氏（中部大学現代教育学部現代教育学科 准教授） 内 容： 児童生徒の学力向上を目指し、実際の授業を通して指導方法を学ぶ		60千円	○事務経費 小中一貫教育全国サミット（開催地：広島県府中市 出席者：2人） （旅費、小中一貫教育全国連絡協議会負担金）					
	○学園全体研修会（講師謝金、費用弁償） 開催日： 令和6年8月7日（水） ・場所 アグリセンター大宮 対 象： 市内学校園所教員、教育関係者 参加者：約80人 講 師： 柏木 智子 氏（立命館大学産業社会学部現代社会学科 教授） 内 容： 子どもが安心できる学校園所づくりに向けた方法等について学ぶ		61千円	成果・課題	○保幼小中一貫教育研究推進協議会、モデルカリキュラム改訂、サミット参加などにより研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。 ○研修会の開催により、児童生徒の学力向上や学校園所づくりの方法等について学ぶ機会を提供することができた。また、教育フォーラムを開催し、本市の教育の在り方について市民への周知を行うことができた。 ○特色ある学校づくりや保幼小中連携の取組の実施により、「丹後学」の充実や学園内の学校園所が一体となった教育活動を行うことができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	1,707千円		1,773千円	66千円	96.2 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	14 いじめ・不登校防止対策等総合推進事業						1,194千円	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 子どもの教育のための総合交付金（1/2） 331千円					
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を設置する。 また、いじめ・不登校の防止等の取組において早期発見・解決に向け1人1台端末を利用をした匿名相談窓口等を設置し、児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進する。								
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） 139千円				○いじめ防止講演会（講師謝金） 参加者：40人 62千円				
	いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する指導・助言を担当の指導主事を含む事務局が受け、その内容をとりまとめ各小中学校へ周知した。				○いじめ防止街頭啓発（消耗品費） 1千円				
	開催日：第1回 令和6年11月30日（土） 第2回 令和7年3月18日（月）				○いじめ相談専用電話設置（通信運搬費） 36千円				
	・報酬 112千円 ・費用弁償 27千円				※いじめ相談件数：1件				
	○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人） 14千円				○市こどもSNS（LINE）相談窓口の設置（令和6年4月～9月） 792千円				
	保育所、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。				・システム保守委託料 330千円				
	開催日：令和6年6月6日（木）				・システム使用料 462千円				
	・報償費（委員謝金） 支払対象3人 12千円 ・旅費（費用弁償） 2千円				※相談件数：12件（いじめの相談：0件）				
成果・課題					○1人1台端末見守り相談（STANDBY）窓口設置（令和6年9月～令和7年3月） 663千円				
					※相談件数：958件（いじめの相談：167件）				
				○専門的な立場から指導・助言を受けることで、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子ども、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。 ○1人1台端末を用いた相談窓口を設置することで、いじめやそれ以外の幅広い内容についての相談を数多く受けることができた。 ○各種相談窓口の周知を積極的に行うなど、引き続き、相談しやすい環境づくりに努める必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																								
	項	01 教育総務費	40,181千円		40,440千円	259千円	99.3 %																																										
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																								
	事業	15 学校情報化推進事業					43,091千円																																										
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	公立学校情報機器整備費補助金（1/3）				440千円																																								
				府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）				165千円																																								
目的		GIGAスクール構想に基づいて整備したICT環境を活用し、児童生徒にとってわかりやすく魅力のある授業を進め、児童生徒の情報利活用能力を育成するほか、児童生徒・教職員1人1台タブレット端末等の電子機器の導入、校内LAN及び学校情報通信ネットワークを維持管理するとともに、教育のICT化及び校務の効率化を図る。																																															
主要な事務・事業の概要	○需用費		2,302千円		○ICT教育実践研修（地域力創造アドバイザー制度活用事業）					204千円																																							
	・パソコン・校内LAN関連消耗品、修繕費		2,302千円		・講師謝金（峰山中学校2回、かぶと山小学校1回）					204千円																																							
	○通信運搬費		1,061千円		＜参考＞パソコン等台数（令和7年3月末時点）					（単位：台）																																							
	・Wi-Fiルータ通信費		13千円		<table><tr><th>区分</th><th>種別</th><th>小学校</th><th>中学校</th><th>事務局</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="3">普通教室用</td><td>ノートPC</td><td>16</td><td>0</td><td>0</td><td>16</td></tr><tr><td>タブレット</td><td>146</td><td>57</td><td>0</td><td>203</td></tr><tr><td>タッチパネル式電子黒板</td><td>146</td><td>57</td><td>0</td><td>203</td></tr><tr><td>校務用</td><td>ノートPC</td><td>299</td><td>201</td><td>42</td><td>542</td></tr><tr><td>図書室用</td><td>ノートPC</td><td>16</td><td>6</td><td>0</td><td>22</td></tr><tr><td>授業用</td><td>iPad</td><td>2,691</td><td>1,544</td><td>17</td><td>4,252</td></tr></table>					区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計	普通教室用	ノートPC	16	0	0	16	タブレット	146	57	0	203	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203	校務用	ノートPC	299	201	42	542	図書室用	ノートPC	16	6	0	22	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252
	区分	種別	小学校	中学校						事務局	合計																																						
	普通教室用	ノートPC	16	0						0	16																																						
		タブレット	146	57	0	203																																											
		タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203																																											
	校務用	ノートPC	299	201	42	542																																											
	図書室用	ノートPC	16	6	0	22																																											
	授業用	iPad	2,691	1,544	17	4,252																																											
	・光回線通信費		1,048千円																																														
	○手数料（電子黒板等移設手数料）		44千円																																														
	○委託料		13,092千円																																														
・サーバーシステム・パソコン・校内LAN等保守委託料		1,505千円																																															
・校務支援システム改修委託料		264千円																																															
・校務支援システム保守委託料		726千円																																															
・ICT支援員業務委託料（5人）		10,377千円																																															
・校務用パソコンマスタ更新作業委託料		220千円																																															
○使用料及び賃借料		23,465千円																																															
・パソコン借上料（校務用パソコン、サーバー）		9,892千円																																															
・ソフトウェア使用料		13,505千円																																															
校務支援システム、ウイルス対策ソフト、採点支援システムほか																																																	
・クラウドサービス利用料（Googleアカウントドメイン取得等）		68千円																																															
○EDIX大阪視察（職員旅費、有料道路使用料）		13千円		成果・課題	○総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、教職員のICTを活用した授業や取組みの質の向上を図った。 ○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン（校務、普通教室、タブレット）、電子黒板及びサーバー機器、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を適切に行うことができた。 ○引き続きICT支援員を適切に配置し、授業改善に向けて児童生徒と教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用していく必要がある。																																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	23,040千円		23,080千円	40千円	99.8 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額			
	事業	16 グローバル人材育成事業					22,429千円	課	学校教育課	
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）	10,512千円					
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を中心に、諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。		繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金	12,448千円					
		諸収入	国際交流事業等参加料	80千円						
主要な事務・事業の概要	OKyotango English Day【対象：小3・4年】		10千円		○中学生の海外派遣【対象：中2年】					11,946千円
	CIR・ALTによる異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和6年10月5日（土） 参加者数：30人 （通信運搬費）				学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、中学生を海外へ派遣した。 派遣先：オーストラリア パース 参加者数：20人（選考） 派遣期間：令和7年3月8日（土）～16日（日） 8泊9日間 （バス運転委託料、旅費、中学生海外派遣事業費補助金ほか）					
	OKyotango English Camp【対象：小5・6年】		231千円		OKyotango Sea Labo【対象：中3年・高校生】					5,197千円
	CIR・ALTによる1泊2日の異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和6年10月5日（土）・6日（日） 参加者数：16人 （通信運搬費、施設使用料ほか）				グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、丹後学・デザイン思考・STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を英語で開催した。 実施日：令和6年8月5日（月）～9日（金）、9月7日（土） 参加者数：35人（中学3年生：31人、高校生：4人） （委託料、講師謝金、費用弁償、施設使用料ほか）					
	○オンライン留学【対象：中1年、高校生】		3千円		成果・課題	○国際交流プログラムの実施により語学力の向上を図ることができた。また、国際的視野をもつ児童生徒を育成するため、さらなる内容の充実を図る必要がある。 ○ICTの活用やオンラインによる交流を充実させることにより、語学力及び学ぶ意欲の向上を促進するとともに、国際的視野を広げることができた。 ○3年間のワークショップを経て、京丹後市版のプログラムが完成した。このプログラムを令和7年度から市教育委員会主体で実施し、さらなるグローバル人材の育成を図る。				
フィリピンとのオンライン交流を実施 ※全体研修7回、各家庭でのオンライン交流複数回 事業期間：令和6年10月8日（火）～12月6日（金） 参加者数：中学生27人、高校生4人 （通信運搬費）										
	○英語力向上アプリ導入【対象：市内全中1～3年】		5,653千円							
	一人一台配付しているタブレットにアプリを導入し、学校及び家庭学習において発音とスピーキング能力を中心とした英語力の向上に取り組んだ。 （ライセンス使用料、通信運搬費ほか）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	2,619千円		2,628千円	9千円	99.6 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	17 国際交流員招致事業					4,649千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	グローバル化に対応するため、一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用し、国際交流員（CIR）を任用する。								
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性で見識や経験を大いに活かした指導、助言を行った。								
	○会計年度任用職員任用経費（国際交流員（CIR）1人）		2,467千円						
	・報酬		2,160千円						
	・共済費（社会保険料、雇用保険料等）		307千円						
	○国際交流員の賃貸住宅に係る経費		31千円						
・住宅更新手数料		16千円							
・火災保険料		15千円							
○自治体国際化協会負担金		121千円		成果・課題	○国際交流員を配置し、その専門性や経験を活かし国際理解教育やSTEAM教育の推進を図ることができた。 ○継続的な任用のため、国際交流員の心身の負担を軽減できるよう生活面におけるサポートの充実が必要である。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	01 教育総務費	3,730千円		4,183千円	453千円	89.1 %				
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	18 共同学校事務室運営事業					4,183千円				
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源							
目的	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。										
主要な事務・事業の概要	○共同学校事務室運営経費		3,730千円		＜経費内訳＞（単位：千円）						
	（共同で実施する業務）				学園別	消耗品費	印刷製本費	修繕料	通信運搬費	備品購入費	合計
	・学校経営全体に関わる業務（各種文書の収受発出など情報管理）				峰山	192	-	90	17	587	886
	・教職員人事に関する業務（給与、旅費、福利厚生、服務等に関する業務）				大宮	103	33	77	12	336	561
	・教育活動に直接関係する業務（学校予算、備品、就学援助等に関する業務）				網野	258	33	27	22	593	933
	・そのほか校内体制に応じて参画する業務 等				丹後	30	-	2	3	359	394
					弥栄	23	-	23	2	243	291
					久美浜	80	-	108	-	477	665
					合計	686	66	327	56	2,595	3,730
					※令和6年度から丹後と弥栄の共同学校事務室を統合。 （令和6年度から弥栄学園は1中学校、1小学校となったことから、丹後学園と統合して更なる事務の標準化・効率化を促進した。）						
成果・課題	○事務処理状況の確認や、帳簿類の相互チェックを行い、事務の適正な執行を図るとともに、事務職員のスキルアップにつなげることができた。 ○役割を分担し、学校規模による事務量の差を調整することで、安定した学校事務に取り組むことができた。										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	759千円		761千円	2千円	99.7 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	19 学校適正配置推進事業					843千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的	「京丹後市学校適正配置基本計画」を円滑に推進するため、適正配置に向けた具体的な取組を進めるとともに、適正配置校・拠点校の式典準備を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○吉野小学校適正配置関連経費（弥栄小学校へ適正配置）								759千円
	・消耗品（弥栄小学校式典用消耗品、看板、装飾花ほか）		152千円						
	・学校記念誌発行補助金（吉野小学校閉校記念誌 405冊）		607千円						
	※吉野小・弥栄小学校づくり準備協議会（令和5年4月20日設置）								
	※令和6年4月に吉野小学校を弥栄小学校へ適正配置								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	3,506千円		3,508千円	2千円	99.9 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	20 学びの変革推進事業					0千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金		2,100千円		
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金		6千円		
				繰入金	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		1,000千円		
目的	「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」において提言されたプロジェクトの実行・推進にあたり、児童生徒が自ら学び、主体的に判断・行動し、周囲と協働しながら問題解決する資質や能力の育成強化を目的とした、子どもたちがワクワクする学びの変革に係る教育活動の推進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○教員研修業務委託料 1,500千円 教員の意識改革を図るため、中高生対象「Kyotango Sea Labo」のプログラムの中で、教員対象ワークショップを同時実施。また、ファシリテーター研修を実施。 【ワークショップ】 実施日：令和6年8月5日（月）～9日（金） 参加者数：5人 【ファシリテーター研修】 実施日：令和6年12月、令和7年2・3月（全3回） 参加者数：5人				○アドバイザー謝金 230千円 新たな教育・人材育成プロジェクトの実行・推進にあたり、アントレプレナーシップ、中高連携、地域協働、ICT等の分野の専門的・技術的な事項について、助言等を受けた。（8人、10回）				
	○学びの変革に係る補助金 1,546千円 児童生徒が自ら学び、主体的に判断・行動し、周囲と協働しながら問題解決する資質や能力の育成強化を目的とした、子どもたちがワクワクする学びの変革に係る教育活動を支援した。 ・実施校 小学校9校、中学校3校 ※計13事業（島津小学校は2事業実施）				○出張旅費 170千円 「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」において提言されたプロジェクトを実行・推進するため、国府及び域外企業との連携等のための出張旅費。 出張先： 京都府、渋谷区、EDIX大阪（教育総合展）等 ・旅費 164千円 ・有料道路使用料 6千円				
	○先進地視察に係る経費（愛知県瀬戸SOLAN小学校） 60千円 探究的な学びやICTを活用した授業の見学及び意見交換を行うことで、子ども主体の学びへの転換に向けて教職員の資質向上を図るため、先進校視察を実施。 ・職員旅費、バス運転委託料、有料道路使用料 60千円				成果・課題	○教員研修や学校の教育活動に対する補助を実施することにより、児童生徒の主体的な学びを推進することができた。 ○アドバイザーから助言を受けることにより、新たな教育・人材育成プロジェクトの実行・推進を行った。 ○先進地視察により、他自治体や民間企業の先進的な取組について、情報収集及び交流を行うことができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	01 教育総務費	20,303千円		20,523千円	220千円	98.9 %		課	教育総務課	
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額				
	事業	50 事務局一般経費					17,908千円				
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				1,995千円	
					諸収入	市有自動車損害共済金				364千円	
目的		教育委員会事務局の円滑な運営のための経費を計上するとともに、全国部活動特別入学選抜による入学生に補助金を交付し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図る。 また、次期京丹後市教育振興計画策定に向けた委員会、部活動の地域移行等に関する各検討会を設置、運営するもの。									
主要な事務・事業の概要	○事務局運営に係る経費			9,057千円		【所管課：学校教育課】					
	・会計年度任用職員任用経費（事務補助員3人）			8,164千円		○京丹後市地域部活動検討会議経費					143千円
	・教育委員会活動点検評価謝金（2人）			40千円		・委員会謝金（1～9人×5回）					124千円
	・交際費			10千円		・費用弁償					19千円
	・出張旅費（教育長、職員等）			478千円		○外部人材派遣に係る負担金					6,000千円
	・消耗品費ほか			365千円		民間企業からの人材派遣（1人）を受け入れ、「新たな教育・人材育成の在り方検討会」まとめに係るプロジェクトの総合的なマネジメントを実施。					
	○公用車の維持管理経費			1,563千円		○備品購入費（デジタルカメラ1台）					75千円
	○各協議会、団体への負担金			143千円							
	○次期教育振興計画策定に向けた経費			617千円		【所管課：生涯学習課】					
	・委員謝金（11人×4回）			244千円		○激励金（スポーツ大会等出場：3団体、43人）					710千円
	・費用弁償			30千円							
	・印刷製本費（教育振興計画冊子）			343千円							
	○高等学校全国募集入学生応援補助金			1,995千円		成果・課題	○高等学校全国募集入学生応援補助金により、地域のスポーツ風土を生かした部活動を応援することで、人材の育成及び地域の活性化に寄与した。 ○令和6年度に様々な意見を取り入れ、教育委員会の今後の方針を定める新たな教育振興計画を策定した。 ○部活動の地域移行を検討するにあたり、本市の部活動の現状、各関係機関の意見、近隣市町の状況を確認することができた。 ○民間企業からの人材派遣により、その専門性や経験を活かし教育・人材育成に関する各種取組を推進することができた。				
	・令和4・5年度入学生			1,680千円							
月額15千円×12月×9人、月額15千円×4月×1人											
・令和6年度入学生			315千円								
月額15千円×12月×1人、月額15千円×9月×1人											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局								
	項	01 教育総務費	21,860千円		21,926千円	66千円	99.6 %										
	目	03 外国語活動推進費					(参考)当初予算額	課	教育総務課								
	事業	01 外国語指導助手招致事業					24,214千円										
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源													
目的	中学校の英語授業補助、小学校の外国語授業及び外国語活動推進のため、一般財団法人自治体国際化協会のJETプログラムを活用して、外国語指導助手（ALT）を招致・任用する。																
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（外国語指導助手）任用経費（5人）				○負担金						604千円						
	・報酬 任用初年度：月額280千円				・自治体国際化協会負担金												
	任用2年目：月額300千円																
	任用3年目：月額325千円																
	任用4、5年目：月額330千円																
主要な事務・事業の概要	・社会保険料、労災保険料、雇用保険料、共済組合負担金				2,714千円												
	・費用弁償				189千円												
	○外国語指導助手支援員任用経費（1人）				21千円												
	出入国時及び生活支援等に係る通訳																
	○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費				78千円												
主要な事務・事業の概要	・住居の更新料、住宅保険等				70千円												
	・廃家電処理手数料				8千円												
								成果・課題		○日本人の外国語教諭のサポート並びにEnglishCampなどの事業において一役を担っている。また、国際理解教育の促進などALTの果たす役割が期待されており、今後もALTの継続的な確保が必要である。 ○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身的な負担軽減などの生活支援の充実が必要である。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局									
	項	01 教育総務費	50,481千円		50,570千円	89千円	99.8 %											
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課									
	事業	01 奨学金事業					64,415千円											
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	繰入金	奨学基金繰入金			648千円									
目的	大学等の高等教育への進学を希望する者で、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金の給付及び貸付を行う。 また、大学等を卒業後に就業する者で、本市に定住し、奨学金の返還を行う者に対する定住促進奨学金支援や大学等受験料支援を行う。				繰入金	ふるさと応援基金繰入金			38,000千円									
					繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			172千円									
					繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金			11,484千円									
主要な事務・事業の概要	○奨学金選考・検討委員会に係る経費			57千円	○定住促進奨学金返還支援制度					38,120千円								
				・報酬（委員6人×4千円×2回）						48千円	・広報チラシ印刷製本費（12,000枚）	43千円						
				・費用弁償						9千円	・大学等へのチラシ送料（549校）	53千円						
	○奨学金給付金			648千円	＜参考＞交付実績					<table><tr><td></td><td>R4年度</td><td>R5年度</td><td>R6年度</td></tr><tr><td>交付実績人数</td><td>120人</td><td>169人</td><td>208人</td></tr></table>		R4年度	R5年度	R6年度	交付実績人数	120人	169人	208人
											R4年度	R5年度	R6年度					
				交付実績人数							120人	169人	208人					
	・市民税非課税世帯 月額12千円×12月×2人（前・後期）	288千円																
	・市民税所得割非課税世帯	360千円	○大学等受験料支援補助金					172千円										
	月額10千円×12月×3人（前・後期）																	
	○奨学金貸付金	11,484千円																
・修学支援金（11人）			5,184千円	・補助金（5人）														
			大学生等 1,000千円×3人 200千円×1人 280千円×1人															
			232千円×4人 388千円×2人															
・入学支度金（9人）			6,300千円	成果・課題	○勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援により、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。 ○令和3年度に創設した定住促進奨学金返還補助事業について、大学等への周知やチラシの配布等を行い、本事業を通じた定住促進に努めた。 ○令和6年度に創設した大学等受験料支援補助金について、進学に向けた支援を行った。													
			大学等入学予定者 700千円×9人															

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	332千円		332千円	0千円	100.0 %		
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	02 奨学基金					12千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	財産収入 奨学基金利子収入 117千円					
				諸収入 奨学資金貸付償還金滞納繰越分 215千円					
目的		経済的理由により大学等での修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的に、奨学基金へ積み立てるもの。							
主要な事務・事業の概要	○奨学基金積立金 332千円								
	・旧網野町で貸し付けた奨学資金償還金分 215千円								
	・利子分 117千円								
	(単位：千円)								
	令和5年度末 現在高 ①	令和6年度中増減額			令和6年度末 現在高 ①-②+③+④				
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④					
	136,377	648	117	215	136,061				
	(充当：1事業)								
	・奨学金事業 648千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局											
	項	01 教育総務費	2,841千円		2,841千円	0千円	100.0 %													
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課											
	事業	03 谷口謙・未来応援基金					2,841千円													
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	財産収入 谷口謙・未来応援基金利子収入 59千円																
目的		経済的理由により大学等での修学が困難なものに対し、奨学金を貸し付けることを目的に、谷口謙・未来応援基金へ積み立てるもの。		諸収入 奨学資金貸付償還金 2,706千円																
主要な事務・事業の概要	○谷口謙・未来応援基金積立金 2,841千円																			
	・京丹後市貸付奨学金で貸し付けた奨学資金償還金分 2,782千円																			
	・利子分 59千円																			
	(単位：千円)																			
	<table><tr><td rowspan="2">令和5年度末 現在高 ①</td><td colspan="3">令和6年度中増減額</td><td rowspan="2">令和6年度末 現在高 ①-②+③+④</td></tr><tr><td>繰入金 ②</td><td>運用利子 ③</td><td>積立金 ④</td></tr><tr><td>64,957</td><td>11,484</td><td>59</td><td>2,782</td><td>56,314</td></tr></table>								令和5年度末 現在高 ①	令和6年度中増減額			令和6年度末 現在高 ①-②+③+④	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	64,957	11,484	59	2,782
令和5年度末 現在高 ①	令和6年度中増減額			令和6年度末 現在高 ①-②+③+④																
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④																	
64,957	11,484	59	2,782	56,314																
		(充当：1事業)																		
		・奨学金事業 11,484千円																		
		</																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	173,279千円		174,972千円	1,693千円	99.0 %			
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	02 小学校管理運営事業					173,004千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	諸収入 小学校施設光熱水費利用負担金 2千円						
目的		小学校16校を管理運営し、児童及び教職員により良い教育環境を提供する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員13人） 46,991千円			○使用料及び賃借料 3,213千円						
	○需用費 111,963千円			・テレビ受信料、ガス警報器使用料 189千円						
	・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか） 27,984千円			・コピー機借上料、印刷機借上料 3,024千円						
	・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか） 363千円			○備品購入費 3,360千円						
	・電気代 64,286千円			・電話機更新（5校）、携帯電話（5台）、草刈り機（2台）ほか						
	・水道料 19,189千円			○負担金、補助及び交付金 580千円						
	・修繕費（印刷機等の修繕） 141千円			京都府小学校校長会負担金、京都府連合小学校教頭会負担金、						
	○役務費 5,788千円			京都府小学校教務主任会負担金、京都府小学校教育研究会負担金、						
	・電話代、郵送料 4,340千円			京都府へき地・小規模校教育研究会負担金等						
	・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）、リサイクル料 1,448千円									
	○委託料 1,384千円			成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、児童が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。					
	・理科薬品廃棄処分、 害虫駆除委託料、情報通信機器保守等									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局										
	項	02 小学校費	180,305千円		338,271千円	157,966千円	53.3 %												
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課										
	事業	03 小学校施設改修事業					253,500千円												
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）			18,877千円										
目的		児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（16校）施設の改修工事等を行う。			市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）			113,700千円										
					市債	小学校施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）			1,100千円										
					市債	旧小学校施設解体事業債（公共施設等適正管理推進事業債）			21,000千円										
主要な事務・事業の概要	○小学校体育館LED化工事（久美浜町内3校）		57,484千円		○その他改修等工事					15,744千円									
												・工事監理委託料		1,408千円		・網野北小学校特別支援学級空調設備設置工事		1,411千円	
												・工事請負費		56,076千円		・各小学校施設改修工事ほか17件		14,333千円	
	○小学校音楽室空調設備設置工事（市内15校）		33,491千円		○令和7年度工事に向けた設計業務委託					2,323千円									
												・工事請負費		33,491千円		・弥栄小学校体育館LED化工事設計		1,190千円	
												・網野北小学校下水道接続工事実施設計		1,133千円					
	○峰山小学校グラウンド擁壁改修工事（市道側）		43,498千円		参考		繰越明許費を除いた最終予算額		180,311千円										
							実質的な予算執行率		99.9%										
							■令和7年度への繰越事業		157,960千円										
											・峰山小学校グラウンド擁壁改修工事（令和7年12月完了予定）		148,460千円						
○高龍小学校寄宿舎解体撤去工事		24,102千円		・網野北小学校下水道接続工事（令和7年9月完了予定）					9,500千円										
											・工事監理・解体処分等作業委託料		1,529千円						
											・工事請負費		22,573千円						
○丹後小学校通級指導室空調設備改修工事		3,663千円		成果・課題	○峰山小学校グラウンド擁壁改修、市内小学校（15校）音楽室空調設備設置、久美浜町内小学校体育館のLED化工事を行うなどの施設整備を行い、良好な教育環境を整えることができた。 ○令和3年3月に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な改修を実施する必要がある。														
										・工事請負費		3,663千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	18,585千円		19,000千円	415千円	97.8 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業（繰越）					19,000千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）				5,555千円
				市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）				12,300千円
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（16校）施設の改修工事等を行う。								
主要な事務・事業の概要	○いさなご小学校階段昇降機設置工事		18,585千円						
	・工事設計・監理委託料		1,585千円						
	・工事請負費		16,940千円						
	・建築確認手数料		60千円						
					成果・課題	いさなご小学校階段昇降機設置工事を行い、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	7,659千円		7,743千円	84千円	98.9 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 児童教職員健康管理事業					9,029千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 7ヶ素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）124千円					
目的	学校における児童及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に基づき、児童教職員の健康診断、保健衛生、その他の保健・安全に関する事業を行うとともに、関連機器等を整備する。								
主要な事務・事業の概要	○保健衛生用品、医薬材料、児童用生理用品 （うち児童用生理用品消耗品費 81千円）		1,189千円	【児童検診内訳】					
	○フッ化物洗口用品 ・消耗品、医薬材料		283千円	尿検査委託料（春）2,300人 2次 19人 尿検査委託料（秋）1次 2,298人 2次 29人 心臓検診委託料 1次 755人（1・4年、経過観察者） 2次 93人					
	○緊急時対応経費 ・AED借上料（全16校各1台設置）		1,016千円	眼科検診委託料 2,291人					
	○検診医用保健衛生用品 ・衛生消耗品 （マスク、手指消毒液、ガウン、ゴム手袋等）		198千円	耳鼻科検診委託料 2,295人 脊柱側わん症検診委託料 1次 25人（校医抽出者）					
	○児童・教職員各種健診 ・児童検診委託料		4,973千円 3,735千円	成果・課題					
	・教職員健康診断委託料 （一般検査、胃部検査、ストレス検査）		997千円						
	・教職員結核検診委託料		194千円	○各種健康診断の実施や衛生環境の保持に加え、全校で生理用品を気兼ねなく使用できる環境づくりに取り組む等、児童及び教職員の健康の保持増進に取り組むことができた。 ○市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。					
	・医師送迎用経費（借上料）		47千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	91,299千円		91,435千円	136千円	99.8 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 小学校スクールバス等通学支援事業					106,928千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的		遠距離通学及び特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを定期運行するとともに、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図るため、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給する。							
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料				82,647千円				
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託								
	いさなご小学校	3台	橘小学校	1台	久美浜小学校	1台			
	しんざん小学校	1台	島津小学校	1台	高龍小学校	4台			
	大宮南小学校	3台	丹後小学校	4台	かぶと山小学校	4台			
	網野北小学校	1台	宇川小学校	1台	計	31台			
	網野南小学校	2台	弥栄小学校	5台					
	(令和7年3月末時点)								
	○車両維持管理経費				8,294千円				
	・修繕料、燃料費、消火器更新								
○バス停維持管理経費				8千円					
・土地借上料（久美浜町佐野地内 15.66㎡）									
○運転手適性診断に係る経費				88千円					
・受講手数料、費用弁償、有料道路使用料（受講者：7人）									
				成果・課題	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。 ○65歳以上の運転手に対し、運転手適性診断の受講を義務付け、交通事故の抑制を図った。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。 ○遠距離通学をする児童を対象とした遠距離通学の支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	02 小学校費	22,420千円		22,534千円	114千円	99.4 %						
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課				
	事業	06 小学校施設管理事業					22,213千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	使用料 公有財産使用料 8千円									
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（16校）施設の維持管理を行う。												
主要な事務・事業の概要	○施設修繕用消耗品費 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル		618千円		○施設修繕用原材料費 ・修繕用木材等 64千円								
	○施設等修繕費 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備、遊具等の修繕他		8,800千円		○備品購入費 ・屋内消火栓ホース、消火器 38千円								
	○各種検査等手数料 ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、漏水調査手数料		370千円		○網野北小学校運動場芝生維持管理経費 896千円 ・芝生肥料、芝刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 芝生目土作業委託料								
	○施設保守管理等委託料（13業務） ・電気設備保守管理、エレベーター保守点検、学校警備、貯水槽等保守点検、給食施設消毒等業務、給排水設備保守点検、浄化槽維持管理、グリストラップ処理、消防設備等保守点検、給食用リフト保守点検、雑木伐採、プール循環点検、遊具点検		11,484千円		成果・課題	○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。							
	○施設用地借上料 ・いさなご小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡）		150千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	26,085千円		27,641千円	1,556千円	94.3 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額		
	事業	01 小学校教育振興事業					29,028千円	課	学校教育課
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補 子どもの教育のための総合交付金（1/2） 270千円						
目的	児童の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど児童の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れ、教育内容の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○入学写真、卒業写真、卒業記念品 （入学児童339人分、卒業児童399人分）		1,305千円		○校外学習活動 6,456千円 消耗品、バス運転委託料、自動車借上料、 有料道路通行料、駐車場使用料、 燃料費、講師費用弁償				
	○学力検査（全校・各学年）		1,842千円						
	○学習教材、教材消耗品等		15,940千円		○民間プール施設を利用した水泳指導（網野北小学校） 542千円				
	・学習教材消耗品		9,067千円		水泳指導委託料、バス運転委託料				
	・学習教材冊子								
	「わたしたちの きょうたんご」（3年生用 435冊）		264千円						
	「京丹後市地域学習副読本」（5年生用 550冊）		333千円						
	・キャリアパスポート（ファイル購入）360冊		63千円						
	・令和6年度小学校教師用教科書・指導書		6,065千円						
	・著作物使用料		148千円						
	教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、児童のタブレットに送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費				成果・課題	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	8,384千円		9,020千円	636千円	92.9 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業					8,020千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補 理科教育設備整備費等補助金（1/2） 189千円					
				寄附金 ふるさと応援寄附金 1,000千円					
目的	児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の充実を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。								
主要な事務・事業の概要	○教材備品及び図書購入		7,463千円						
	・教材備品整備		3,670千円						
	・学校図書整備		3,793千円						
	（うち、ふるさと応援寄附金充当（丹後・宇川小学校）計1,000千円）								
	○理科等振興備品購入		657千円						
理科、算数備品整備									
○教材備品修繕費（ミシンほか）		106千円							
○学校図書館図書管理システム使用料		158千円							
				成果・課題	学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	02 小学校費	19,403千円		19,640千円	237千円	98.7 %				
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	03 小学校就学援助事業					24,145千円				
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）			68千円		
					国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）			1,040千円		
目的		経済的理由によって就学困難な児童の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級児童等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な児童が公共交通等を利用した際の通学費（交通費）及び送迎時の燃料代を支給する。									
主要な事務・事業の概要	○就学援助費			17,218千円		○特別支援教育就学奨励費					2,150千円
	・要保護認定者 17人（R5：16人）			140千円		・認定者 80人（R5：78人）					
	修学旅行費 123千円					学用品費等 621千円					
	医療費 17千円					給食費 1,328千円					
	・準要保護認定者 240人（R5：230人）			15,651千円		修学旅行費 176千円					
	学用品費等 4,244千円					通学費（交通費） 25千円 ※対象者数 5人					
	給食費 8,615千円										
	修学旅行費 1,223千円										
	医療費 39千円										
	オンライン学習通信費 1,530千円										
※申請者数 299人（R5：283人） 認定者数 257人（R5：246人）											
・令和7年度新入学児童学用品費入学前支給分			1,427千円								
支給者数 25人 ※令和7年2月14日支給											
○就学援助世帯Wi-Fiルーター貸出			35千円								
・貸出者数 5人											
成果・課題		○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、障害のある児童の通学費を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	90,606千円		92,165千円	1,559千円	98.3 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 小学校スクールサポーター等設置事業					92,496千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的		児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するため、スクールサポーター（介護職員）を配置するとともに、教育活動の推進と学校経営の安定を図るため、教員資格のあるスクールサポーター（講師）を配置する。							
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（スクールサポーター）任用経費（30人） ＜スクールサポーター内訳＞			90,592千円		＜配置一覧＞			
	・ 介護職員 27人（1日7時間、週5日勤務）								
	・ 講師 3人（1日7時間、週5日勤務）								
	○事務費（旅費、校外行事参加負担金等）			14千円					
成果・課題		○必要に応じてスクールサポーターを配置することでよりきめ細やかな指導及び円滑な授業を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府へ要請する。あわせて不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,546千円		1,794千円	248千円	86.1 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 小学校丹後学等教育活動実践事業					1,434千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探究を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業（講師謝金等） 丹後学、総合的な学習活動推進事業（全小学校で実施） ・峰山地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・大宮地域 稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・網野地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・丹後地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・弥栄地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験 等 ・久美浜地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り 等		1,096千円	○教育研究事業負担金 98千円 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施					
				○修学旅行引率補助金 352千円 16校、引率教員61人					
				成果・課題	○地元地域の特産品や、稲作づくりを体験することで、地域への理解と愛着を深めることができた。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	120,818千円		120,820千円	2千円	99.9 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 中学校施設改修事業					151,800千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）				24,112千円
				市債	中学校施設整備事業債（過疎債）				95,400千円
目的		生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校（6校）施設の改修工事等を行う。							
主要な事務・事業の概要	○峰山・大宮・網野中学校トイレ洋式化改修工事			119,825千円					
	・工事監理委託料			2,733千円					
・工事請負費			117,092千円						
○その他改修等工事			993千円						
・久美浜中学校校舎連結部雨漏り修繕工事			638千円						
・弥栄中学校外倉庫解体撤去工事			355千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	4,927千円		4,975千円		48千円		99.0 %			
	目	01 中学校管理費							(参考)当初予算額			
	事業	04 生徒教職員健康管理事業							6,032千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源								
目的	学校における生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に基づき、生徒教職員の健康診断、保健衛生、その他の保健、安全に関する事業を行うとともに、関連機器等を整備する。											
主要な事務・事業の概要	○保健衛生用品、医薬材料、生徒用生理用品 （うち生徒用生理用品消耗品 50千円）		637千円		【生徒検診内訳】							
	○緊急時対応経費 ・AED借上料（全6校各2台設置）		762千円		尿検査委託料（春）1次 1,124人 2次 49人 尿検査委託料（秋）1次 1,122人 2次 53人 心臓検診委託料 1次 374人（1年、経過観察者） 2次 49人							
	○検診医用保健衛生用品 ・衛生消耗品（ゴム手袋）		83千円		眼科検診委託料 1,117人 耳鼻科検診委託料 1,116人 血液検査委託料 328人（2年、経過観察者） 脊柱側わん症検診委託料 4人（校医抽出者）							
	○生徒・教職員各種健診 ・生徒検診委託料		3,445千円 2,706千円		成果・課題							
	・教職員健康診断委託料 （一般検査、胃部検査、ストレス検査）		599千円									
	・教職員結核検診委託料		122千円									
	・医師送迎用経費（借上料）		18千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																							
	項	03 中学校費	61,306千円	61,424千円	118千円	99.8 %																																									
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課																																							
	事業	05 中学校スクールバス等通学支援事業				86,953千円																																									
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																																											
目的		遠距離通学及び特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを定期運行するとともに、自転車通学をする生徒を対象に、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図るため、自転車通学用ヘルメット購入補助金を支給する。																																													
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料		51,589千円		○自転車通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2）				181千円																																						
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託																																														
	<table><tr><td>峰山中学校</td><td>1台</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>(1台)</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>3台</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>2台</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>1台</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>9台</td></tr><tr><td>計</td><td>16台(17台)</td></tr></table>		峰山中学校	1台	大宮中学校	(1台)	網野中学校	3台	丹後中学校	2台	弥栄中学校	1台	久美浜中学校	9台	計	16台(17台)			<table><tr><td>学校名</td><td>対象生徒数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>峰山中学校</td><td>87人</td><td>87千円</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>39人</td><td>39千円</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>19人</td><td>19千円</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>4人</td><td>4千円</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>22人</td><td>22千円</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>10人</td><td>10千円</td></tr><tr><td>計</td><td>181人</td><td>181千円</td></tr></table>				学校名	対象生徒数	補助金額	峰山中学校	87人	87千円	大宮中学校	39人	39千円	網野中学校	19人	19千円	丹後中学校	4人	4千円	弥栄中学校	22人	22千円	久美浜中学校	10人	10千円	計	181人	181千円	
	峰山中学校	1台																																													
大宮中学校	(1台)																																														
網野中学校	3台																																														
丹後中学校	2台																																														
弥栄中学校	1台																																														
久美浜中学校	9台																																														
計	16台(17台)																																														
学校名	対象生徒数	補助金額																																													
峰山中学校	87人	87千円																																													
大宮中学校	39人	39千円																																													
網野中学校	19人	19千円																																													
丹後中学校	4人	4千円																																													
弥栄中学校	22人	22千円																																													
久美浜中学校	10人	10千円																																													
計	181人	181千円																																													
※大宮中学校の車両は、大宮南小学校スクールバスの大宮中学校生徒対象分																																															
○車両維持管理経費		9,536千円																																													
・消耗品費、修繕料、燃料費																																															
				成果・課題	○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。 ○自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。																																										

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	10,153千円		10,316千円	163千円	98.4 %		
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	06 中学校施設管理事業					9,373千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	使用料 公有財産使用料 15千円					
目的		生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校（6校）施設の維持管理を行う。							
主要な事務・事業の概要	○施設修繕用消耗品費 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル等		220千円		○施設用地借上料 1,454千円 ・弥栄中学校（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡）				
	○施設等修繕費 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕		4,611千円		○施設修繕用原材料費 34千円 ・補修用木材等				
	○各種検査等手数料 ・貯水槽法定検査、漏水調査		176千円						
	○施設保守管理等委託料（9業務） ・電気設備保守管理、貯水槽等保守点検、空調設備清掃、グリストラップ処理、消防設備等保守点検、学校警備、給食施設消毒等業務、給食用リフト保守点検、遊具点検		3,658千円						
					成果・課題 ○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	34,924千円		35,029千円	105千円	99.7 %			
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	01 中学校教育振興事業					35,168千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）				158千円	
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				158千円	
目的		生徒の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど生徒の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れるとともに、体育大会への参加や部活動等を支援し、教育内容の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○入学写真、卒業記念品 （入学生徒367人分、卒業生徒408人分）		1,247千円		○校外学習、部活動					15,386千円
	○学習指導等 ・学力検査（全校・各学年）		2,158千円		・バス運転委託料					11,952千円
	○学習教材、教材消耗品等 ・学習教材消耗品		5,473千円		・楽器運搬手数料（ティンパニ、チューバほか）					86千円
	・学習教材冊子「京丹後市地域学習副読本」（270冊）		163千円		（第61回京都府吹奏楽コンクール）					
	・令和7年度中学校教師用教科書・指導書		10,071千円		出 場 日：令和6年8月3日（土）					
	・著作物使用料		110千円		会 場：京都コンサートホール 大ホール					
	教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、生徒のタブレットに送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費。				出 場 校：峰山中学校、大宮中学校					
	○講師報酬		316千円		・体育大会等選手派遣費補助金					3,348千円
	・遠隔教育講師報酬（費用弁償を含む）		316千円							
	弥栄中学校の技術科プログラミング授業を、オンラインでの遠隔授業により実施。（18回）									
				成果・課題	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	03 中学校費	6,315千円		6,562千円	247千円	96.2 %					
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課			
	事業	02 中学校教育振興備品整備事業								6,619千円		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源			国補 理科教育設備整備費等補助金（1/2） 333千円					
目的	生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の拡充を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。											
主要な事務・事業の概要	○教材備品及び図書購入		4,774千円									
	・教材備品整備		3,004千円									
	・学校図書整備		1,135千円									
	・音楽備品（バリトンサックスほか）		635千円									
	○理科振興備品購入		948千円									
	理科教育に要する学習教材											
	○教材備品修繕費（ミシン、楽器ほか）		313千円									
○楽器メンテナンス料（大宮、久美浜中学校分）		220千円										
○学校図書館図書管理システム使用料		60千円										
				成果・課題	学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科備品については、国の補助金を活用し計画的に整備することで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	03 中学校費	22,190千円		22,315千円	125千円	99.4 %																						
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																				
	事業	03 中学校就学援助事業					23,452千円																						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）			151千円																				
					国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）			555千円																				
目的	経済的理由によって就学困難な生徒の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級生徒等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な生徒が公共交通等を利用した際の通学費（交通費）及び送迎時の燃料代を支給する。																												
主要な事務・事業の概要	○就学援助費			20,663千円		○特別支援教育就学奨励費					1,516千円																		
	・要保護認定者 9人（R5：7人）			305千円		・認定者 34人（R5：33人）																							
	修学旅行費			305千円		学用品費等					575千円																		
	・準要保護認定者 144人（R5：135人）			16,859千円		給食費					422千円																		
	学用品費等			6,321千円		修学旅行費					337千円																		
	給食費			5,109千円		通学費（交通費）					182千円 ※対象者数 2人																		
	修学旅行費			3,703千円																									
	オンライン学習通信費			1,726千円		＜参考＞ 認定者数																							
	・準要保護認定者（被災生徒） 1人（R5：2人）			160千円		<table><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>就学援助費</td><td>135人</td><td>151人</td><td>143人</td><td>144人</td><td>154人</td></tr><tr><td>就学奨励費</td><td>23人</td><td>29人</td><td>27人</td><td>33人</td><td>34人</td></tr></table>						R2	R3	R4	R5	R6	就学援助費	135人	151人	143人	144人	154人	就学奨励費	23人	29人	27人	33人	34人	
		R2	R3	R4	R5	R6																							
就学援助費	135人	151人	143人	144人	154人																								
就学奨励費	23人	29人	27人	33人	34人																								
・令和7年度新入学生徒学用品費入学前支給分			3,339千円		成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、障害のある生徒の通学費を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。																							
支給者数 53人 ※令和7年2月14日支給																													
○就学援助世帯貸出用Wi-Fiルーター貸出			11千円																										
・貸出者数 2人																													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																
	項	03 中学校費	64,787千円		65,243千円	456千円	99.3 %																																																		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																																
	事業	04 中学校スクールサポーター等設置事業					69,064千円																																																		
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	教育支援体制整備事業費補助金（1/3）				5,404千円																																																
				府補	部活動指導員配置促進事業補助金（2/3）				2,733千円																																																
目的	生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するとともに保幼小中一貫教育の推進を図るため、スクールサポーターを配置する。 また、生徒のための心の相談員や部活動指導員、適正配置による通学バス等の事務の増加に対応するための事務職員をスクールサポーターとして配置する。																																																								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（スクールサポーター）任用経費（30人） 64,610千円 ＜スクールサポーター内訳＞ ・介護職員 5人（1日7時間、週5日勤務） ・講師（小中一貫コーディネーター） 6人（1日7時間45分、週4日勤務） ・心の教室相談員 6人（1日7時間、週5日勤務） ・部活動指導員 12人（1日1時間、年間330時間勤務） ・事務補助員 1人（1日6時間、週5日勤務） ○事務費（旅費、校外行事参加負担金等） 177千円				＜配置一覧＞ <table><tr><th>学校名</th><th>介護</th><th>小中一貫 コーディネーター</th><th>相談員</th><th>部活動 指導員</th><th>事務 補助員</th></tr><tr><td>峰山中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>1人</td><td>1人</td><td>-</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>2人</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>-</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>-</td><td>1人</td><td>1人</td><td>3人</td><td>1人</td></tr><tr><td>計</td><td>5人</td><td>6人</td><td>6人</td><td>12人</td><td>1人</td></tr></table>					学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員	峰山中学校	1人	1人	1人	1人	-	大宮中学校	1人	1人	1人	2人	-	網野中学校	2人	1人	1人	2人	-	丹後中学校	-	1人	1人	2人	-	弥栄中学校	1人	1人	1人	2人	-	久美浜中学校	-	1人	1人	3人	1人	計	5人	6人	6人	12人	1人
	学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員																																																			
峰山中学校	1人	1人	1人	1人	-																																																				
大宮中学校	1人	1人	1人	2人	-																																																				
網野中学校	2人	1人	1人	2人	-																																																				
丹後中学校	-	1人	1人	2人	-																																																				
弥栄中学校	1人	1人	1人	2人	-																																																				
久美浜中学校	-	1人	1人	3人	1人																																																				
計	5人	6人	6人	12人	1人																																																				
成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することでよりきめ細やかな指導及び円滑な授業を行うことができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府へ要請する。あわせて不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																																								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	1,421千円		1,478千円	57千円	96.1 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額		
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業					1,161千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		府補	子どもの教育のための総合交付金（10/10）400千円				
目的	教員の指導力向上や、生徒の自己肯定感を高め未来を拓く力を身につけるため、府の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探究を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教職員の研究事業に取り組むとともに、修学旅行における引率教員の施設入場料等に係る経費を支援する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業			632千円	○教育研究事業負担金56千円				
	・着付け体験学習（クリーニング代金、講師謝金 等）		222千円	京丹後市中学校教育研究会					
	参加者：439人			中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。					
	・丹後学、総合的な学習活動		410千円	○修学旅行引率補助金333千円					
市単独事業、全中学校で実施（講話学習、職場体験 等）			6校、引率教員48人						
○教育実践研究指定事業（謝金、消耗品費、バス運転委託料）		400千円							
・未来を拓く学校づくり推進事業		200千円							
実施校：網野学園 ※府補助事業（補助率10/10）									
実施年度：令和4年度～6年度（3か年）									
・未来の担い手育成プログラム研究校		200千円							
実施校：丹後中学校 ※府補助事業（補助率10/10）									
実施年度：令和4年度～6年度（3か年）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	305千円		351千円	46千円	86.8 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額		
	事業	02 社会教育委員設置事業					481千円	課	生涯学習課
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うとともに、地域の諸課題や市民の要望を反映した社会教育事業を展開するため、社会教育委員を設置する。								
主要な事務・事業の概要	○報酬（委員：11人、報酬対象：9人）		198千円		＜会議の主な内容＞（3回開催） ・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画について ・京丹後市公民館の再編について ・（仮称）市民大学について ・令和7年度社会教育委推進の重点について ＜委員研修等＞ ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会（3回、宮津市） ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会（6月28日：宮津市） ・京都府社会教育委員連絡協議会総会（6月28日：宮津市） ・京都府社会教育委員連絡協議会研究大会（11月21日：向日市） ・丹後地方社教委連だより編集会議（2回、宮津市）				
	・社会教育委員会議出席報酬（3回）		100千円						
	・その他会議出席報酬（近畿大会、府総会等）		98千円						
	○旅費（委員費用弁償、事務局普通旅費）		34千円						
	○負担金、補助及び交付金		65千円						
	・丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金		56千円						
	・京都府社会教育委員連絡協議会分担金		9千円						
	○その他経費（消耗品費、燃料費、有料道路通行料、駐車場使用料）		8千円						
					成果・課題	社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、また、研修の機会を通して得た内容等をもとに、市民の意向を反映した社会教育行政の推進に寄与することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	4,335千円		4,379千円	44千円	98.9 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 社会教育総務一般経費					4,041千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	会計年度任用職員の配置等、社会教育事業全般に関する事務局経費								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（社会教育指導員1人） （配属先：生涯学習課）		3,973千円						
	○役務費（通信運搬費）		1千円						
	○京丹後市連合婦人会活動補助金 ・活動内容：講演会、各種ボランティア、管外研修 ほか		361千円						
				成果・課題	○社会教育指導員の配置により、各種社会教育事業を円滑に進めることができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	468千円		495千円	27千円	94.5 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 はたちを祝う式典開催事業					589千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	就職や進学などで社会経験を積み、はたちを迎えた一人ひとりが、夢と希望をもって自立的に未来を切り開き活躍することを願うとともに、郷土への愛着を醸成することを目的に、記念式典を開催する。								
主要な事務・事業の概要	○報償費		248千円		〈令和7年京丹後市はたちを祝う式典〉 ・日 時 令和7年3月16日（日）午後2時00分～午後4時00分 ・会 場 京都府丹後文化会館 ・対 象 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業者487人（男254人、女233人） ・出席者 406人（男213人、女193人）（出席率83.4%） ・内 容 式 典：式辞、祝辞、はたちの主張、恩師からのメッセージ、記念撮影等 記念行事：高谷大地選手による講話（網野町出身、2024パリオリンピックレスリングフリースタイル74kg級銀メダリスト） 企画委員：司会、アトラクションの企画運営（メッセージパネル、大抽選会、ライブパフォーマンス）				
	・報償金（アトラクション謝金）		28千円						
	・報償物品（記念写真）		220千円						
	○需用費		33千円						
	消耗品費（式次第用紙等）								
	○通信運搬費		5千円		成果・課題 ○成人年齢が18歳に引き下げとなったが、本市では高校卒業後一定の社会経験を積んだタイミングで家族や旧友、地域社会とのつながりをより感じることができる20歳を対象に「はたちを祝う式典」として開催した。 ○式典対象者の中から企画委員を募り、応募のあった10人が企画委員として式典内容について企画・立案し、その内容を式典に反映することで、充実した「はたちを祝う式典」を開催することができた。				
開催通知、返信用ハガキ（来賓用）									
○手数料		2千円							
クリーニング手数料									
○使用料及び賃借料		180千円							
京都府丹後文化会館使用料（準備、当日）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,106千円		1,126千円	20千円	98.2 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	02 青少年教育事業					1,240千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	本市の将来を担う青少年が心豊かに成長することができるよう、地域の青少年を守り育てる活動及び団体を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○児童合唱団補助金 206千円 音楽を通して自分を表現する力や社会性を身に付けるなど、豊かな心をはぐくむ活動を支援 補助金 大宮：69千円、網野32千円、久美浜105千円				○地域子ども教室活動補助金 500千円 地域の中で、子どもたちが健やかに成長できる安全な場所を確保するとともに、地域全体で子どもを守り育てる活動を支援 補助金 100千円×5団体 対象地域 新山ひこばえの集い（峰山町荒山区） ブーフ・まむ（大宮町善王寺区） 久美浜二区子ども広場（久美浜町二区） 土曜お楽しみ会（久美浜町川上・海部・佐濃地区） チャレンジ教室（久美浜町神野地区）				
	○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円 家庭、地域社会、学校等関係団体と行政が連携・協力し、青少年の健全育成に資する活動・地域づくりを支援 ◇あいさつ運動 （開催場所：市内中学校、高等学校 10か所）（参加人数延べ352人） ◇夏祭りパトロール （開催場所：丹後、網野、久美浜 3か所）（参加人数延べ62人） ◇青少年体験事業 カヌー体験教室（10人）、親子でおさかな料理教室（18人） おもしろ科学実験教室（170人）、パラスポーツ体験会（100人） ◇講演会（教育フォーラム共催）（180人） ◇総会、研修会（30人） ◇たよりの発行（京丹後市内全戸配布）				成果・課題	○青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。 ○教育フォーラムを学校教育課と共催することで、広く地域団体に理解してもらう機会となった。 ○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を推進する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,450千円		1,473千円	23千円	98.4 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額		
	事業	04 家庭教育事業						1,642千円	
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		府補	家庭教育支援基盤形成事業補助金（2/3）					643千円
目的	全ての教育の出発点である家庭教育を推進するため、子どもの発達段階に即した学習及び交流機会の充実に努めるとともに、PTA活動を支援する。			主な財源					
主要な事務・事業の概要	○家庭教育支援チーム事業								
	子育てに悩みや不安を抱える親に対する子育て支援、学習機会の充実を図るため、子育て経験者や専門的知識・経験を持つ者などで「家庭教育支援チーム」を組織し、子育て交流会などの支援活動を行う。								
	事業	回数	延べ参加者数	○家庭教育支援チーム事業					327千円
	子育ておしゃべり交流会	14回	402人	子育て交流会等ファシリテーター謝金					327千円
	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	330人	各地域公民館に家庭教育支援チーム（6チーム）、子育てサポーター（51人）を配置					
	子育てROOM	8回	203人	○子育て講座等の実施					648千円
	中学生と赤ちゃんのふれあい事業	2回	208人	※乳幼児講座4回、子育て（学童・思春期）講座5回、親子体操教室20回					
	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	4回	112人	・子育て講座等講師謝金					166千円
	合計	40回	1,255人	・親子体操教室講師謝金					120千円
	※広報紙発行：1回		・消耗品費等事務費						
○子育て講座		○京丹後市PTA協議会補助金							475千円
事業	回数	延べ参加者数	市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成						
乳幼児期子育て講座	4回	130人	成果・課題	○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。					
就学前、思春期子育て講座	5回	382人		○乳幼児とその保護者、中学生、高校生、子育てサポーターの異世代間交流の中で、命の尊さを学ぶ機会となった。					
親子リフレッシュ体操教室	20回	230人		○課題を関係機関と情報共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。					
合計	29回	742人							

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	04 社会教育費	36,003千円		36,371千円	368千円	98.9 %		課	生涯学習課	
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額				
	事業	05 文化芸術事業					36,948千円				
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	デジ 刈田園都市国家構想交付金				1,396千円		
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				2,490千円		
				諸収入	社会教育事業等負担金				3千円		
目的		令和5年度に策定した「文化芸術振興計画」に基づき、だれもが文化芸術に親しみ、人が輝き、豊かで活力ある生活が送れるよう、市民等が相互に連携し、一体となって文化芸術によるまちづくりを推進するため、各種文化芸術活動を支援する。									
主要な事務・事業の概要	○文化芸術振興審議会（2回）		117千円		○丹後文化事業団運営費補助金					27,000千円	
	・委員報酬（対象：15人中13人）、アドバイザー謝金（1人）		108千円		文化事業団運営経費、人件費、施設管理費等に対する補助金						
	・委員費用弁償		9千円		○京丹後市文化協会活動補助金					3,500千円	
	○文化芸術のまちづくり推進会議（4回）		155千円		各種文化振興事業及び事務局員賃金に対する補助金						
	・委員謝金（15人）、アドバイザー謝金（2人）		145千円		○丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金					60千円	
	・アドバイザー費用弁償（1人）		10千円		障害者等によるアート作品の発表の場を創出する事業に対する補助金						
	○おとまち響プロジェクト		119千円		○京丹後アートフェスティバル開催経費					1,520千円	
	・ピアノ調律手数料（2台）		119千円		市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供（令和6年9月～12月開催）						
	○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金		1,232千円		・知るプログラムに関する経費					400千円	
	落語体験塾（ワークショップ）、落語会を開催		1,232千円		・みるプログラムに関する経費					901千円	
	○京丹後市市制20周年記念文化公演実行委員会		1,000千円		・ワークショップフェア、その他経費					219千円	
	・丹後能（令和6年9月29日開催、参加者562人）										
	・田中彩子リサイタル（令和6年12月8日開催、参加者420人）										
	○丹後文化芸術祭実行委員会補助金		1,300千円		成果・課題	○優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供及び地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。					
	北部2市2町と丹後文化事業団で設置する実行委員会が、展示会や発表会を開催する経費に対する補助金					○京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進するために発足した京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議で、文化芸術によるまちづくりを具体的に進めるための検討を行った。					
					○（公財）京都府丹後文化事業団及び京丹後市文化協会等、各団体の自立運営に向けた支援をしていく必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	91千円		125千円	34千円	72.8 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	06 人権教育事業					178千円		
基本計画		22 人権を尊重するまちづくり	主な財源	府補 人権問題啓発事業費補助金（1/2） 35千円					
目的	人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めるための学習機会の提供などを通じ、さらなる人権教育を推進する。								
主要な事務・事業の概要	○人権教育研究京丹後市大会の開催経費		77千円						
	・講師謝金		72千円						
	・消耗品費（資料用紙等）		5千円						
	【人権教育研究京丹後市大会（R6.8.21） 参加者：200人】 講演「大好きは 魔法の言葉」 講師 作家・映画監督・元特別支援学校教諭 山元 加津子 氏 （会場：アグリセンター大宮）								
○その他経費（消耗品費）		14千円							
（参考）視覚・聴覚障害者交流研修会の開催									
【視覚障害者交流研修会（R6.6.27） 参加者：14人】 【聴覚障害者交流研修会（R6.11.1） 参加者：8人】 講話「大阪・関西万博で見ることのできる未来」、型を使った染色体験 （会場：大宮ふれあい工房）									
				成果・課題	○人権教育研究京丹後市大会を通じ、人権学習の機会を提供することができた。また、障害者交流研修会を通じて、障害者の交流及び社会参加の促進につなげることができた。 ○誰もが平等で、人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に行動できるよう、啓発活動だけでなく学習の機会を充実させる必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	04 社会教育費	31,137千円		31,408千円	271千円	99.1 %																										
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																								
	事業	01 中央公民館管理運営事業					32,568千円																										
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債） 14,000千円																													
目的	教育委員会内に中央公民館を設置し、地域住民の学習及び交流活動の拠点となる地域公民館及び地区（自治）公民館を統括、支援するとともに、公民館関係職員の研修機会を設ける。																																
主要な事務・事業の概要	○地区公民館活動交付金 29,260千円 【積算内訳（調整有）】 地区割 20,000円×177地区 世帯数割 1,400円×19,542世帯 町均等割 250,000円×6町 ○公民館総合（傷害）保険料（52館分） 1,877千円 ※新コミュニティに移行済みの5地区公民館分を含む。		【交付金町域別内訳】																														
			<table><tr><th>区 分</th><th>地区公民館数</th><th>交付金額</th></tr><tr><td>峰山町公民館連絡協議会</td><td>8館</td><td>7,695千円</td></tr><tr><td>大宮町公民館連絡協議会</td><td>15館</td><td>5,950千円</td></tr><tr><td>網野町公民館連絡協議会</td><td>12館</td><td>7,562千円</td></tr><tr><td>丹後町公民館連絡協議会</td><td>4館</td><td>2,334千円</td></tr><tr><td>弥栄町公民館連絡協議会</td><td>3館</td><td>2,249千円</td></tr><tr><td>久美浜町公民館連絡協議会</td><td>5館</td><td>3,470千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>47館</td><td>29,260千円</td></tr></table>							区 分	地区公民館数	交付金額	峰山町公民館連絡協議会	8館	7,695千円	大宮町公民館連絡協議会	15館	5,950千円	網野町公民館連絡協議会	12館	7,562千円	丹後町公民館連絡協議会	4館	2,334千円	弥栄町公民館連絡協議会	3館	2,249千円	久美浜町公民館連絡協議会	5館	3,470千円	合 計	47館	29,260千円
			区 分	地区公民館数	交付金額																												
			峰山町公民館連絡協議会	8館	7,695千円																												
大宮町公民館連絡協議会	15館	5,950千円																															
網野町公民館連絡協議会	12館	7,562千円																															
丹後町公民館連絡協議会	4館	2,334千円																															
弥栄町公民館連絡協議会	3館	2,249千円																															
久美浜町公民館連絡協議会	5館	3,470千円																															
合 計	47館	29,260千円																															
※令和6年度より1地区公民館（吉野地区）が、新たに新コミュニティ（いやさか吉野地域づくり協議会）に移行し「地域コミュニティ活動交付金」により支援																																	
成果・課題	○地区公民館活動の支援を通じて、住民によるコミュニティ活動を通じた学習や交流機会の提供など、地区公民館が地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○今後も新たな地域コミュニティが行う生涯学習活動について、講座や講師の紹介などのサポートを実施していく必要がある。																																

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	04 社会教育費	31,928千円		38,933千円	7,005千円	82.0 %				
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課		
	事業	02 地域公民館管理運営事業					29,409千円				
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館使用料			1,014千円		
目的	社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりをめざして各町に地域公民館を設置し、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供し、学習環境の整備・充実を図る。また、社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館施設の管理運営を行う。				府補	きょうと地域連携交付金（高齢者教育事業）			600千円		
					諸収入	地域公民館光熱水費負担金等			429千円		
					諸収入	社会教育事業等参加料			661千円		
				市債	社会教育施設整備事業債（合併特例債）			5,200千円			
主要な事務・事業の概要	○講座・教室等の実施、地域公民館事業の広報		1,704千円		＜主な公民館事業＞ ※ 参加者数は延べ人数						
	・報償費（講師謝金、報償物品）		1,328千円		事業種別	事業・講座名		回数	参加者数	実施額	
	・需用費（燃料費）		41千円			成人教育	ふるさと探求講座(網野・丹後・久美浜)		3回	22人	19千円
	・委託料（バス運転委託料）		261千円				ピラティス講座(大宮)		8回	89人	48千円
	・使用料及び賃借料（会場借上料、入場料ほか）		74千円			膝痛改善プログラム体験講座(久美浜)		3回	43人	18千円	
	○京丹後市民大学開催経費（講師謝金、消耗品費）		179千円		青少年教育	夏休み子ども体験教室(峰山・大宮・弥栄・久美浜)		7回	76人	16千円	
	対象者：18歳以上の市民、講座回数：6回、受講人数：114人					網野町ウィークエンド事業(網野)		12回	259人	137千円	
	○地域公民館施設等維持管理経費		24,569千円		家庭教育	親子ふれあいスクール(久美浜)		3回	46人	12千円	
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）		12,727千円		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		32,586千円			
	・役務費（通信運搬費、手数料）		265千円			実質的な予算執行率		97.9%			
	・委託料（施設管理、施設清掃、宿日直ほか）		11,307千円		■令和7年度への繰越事業 6,347千円						
	・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料）		270千円		・峰山地域公民館トイレ洋式化工事（令和7年4月完了） 6,347千円						
	○峰山地域公民館トイレ洋式化工事		5,476千円		成果・課題	○市民に多様な分野の学習機会を提供することで、充実した社会教育活動を推進することができた。 ○各公民館施設の老朽化により、修繕が必要な箇所が多いことから、計画的な修繕を検討する必要がある。					
	・設計監理委託料、工事請負費		5,476千円								
＜貸館施設の利用状況＞											
区 分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費								
峰山地域公民館	2,187回	17,711 人	14,685千円								
丹後地域公民館	636回	11,989 人	7,348千円								
弥栄地域公民館	598回	13,200 人	7,148千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																	
	項	04 社会教育費	4,448千円		4,551千円	103千円	97.7 %																			
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																	
	事業	03 地区公民館管理運営事業					4,448千円																			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 219千円																					
目的	地域住民の身近な生涯学習・コミュニティ活動の拠点である、網野地域の地区公民館を維持・管理する。																									
主要な事務・事業の概要	○網野地域の地区公民館施設の維持管理経費 4,448千円 ・地区公民館管理謝金（8館分） 936千円 ・地区公民館経常経費（3館分） 1,218千円 消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、通信運搬費、し尿汲取手数料、ガス警報器使用料 アスベスト分析等検査手数料（網野地区公民館） ・施設管理等委託料（1館分） 519千円 網野地区公民館管理業務、消防設備等保守点検業務 ・地区公民館火災保険料等補助金（7館分） 1,775千円			＜利用状況＞ ・網野地区公民館																						
				<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用者数</td></tr><tr><td>大広間</td><td>126回</td><td>2,905人</td></tr><tr><td>大会議室・小会議室</td><td>129回</td><td>2,368人</td></tr><tr><td>公民館会議室</td><td>12回</td><td>179人</td></tr><tr><td>和 室</td><td>80回</td><td>713人</td></tr><tr><td>調理室</td><td>3回</td><td>56人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>350回</td><td>6,221人</td></tr></table>						区 分	利用回数	延べ利用者数	大広間	126回	2,905人	大会議室・小会議室	129回	2,368人	公民館会議室	12回	179人	和 室	80回	713人	調理室	3回
区 分	利用回数	延べ利用者数																								
大広間	126回	2,905人																								
大会議室・小会議室	129回	2,368人																								
公民館会議室	12回	179人																								
和 室	80回	713人																								
調理室	3回	56人																								
合 計	350回	6,221人																								
			成果・課題	○適正に維持管理を行うことにより、施設の機能、利用者の利便性を維持確保することができた。 ○網野地域には地区集会施設の一部を公民館施設として占用しているものがある。この施設管理費について負担割合を設定し、補助金などにより支出しているが、他地域の地区公民館の現状を踏まえ、地区公民館管理謝金、地区公民館火災保険料等補助金について令和6年度で廃止をした。																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	42,146千円		42,944千円	798千円	98.1 %		
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 公民館一般経費					39,846千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	地域公民館配置の会計年度任用職員任用経費及び公民館運営に係る事務局経費								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（地域公民館：12人） （社会教育指導員 6人、事務補助員 6人）		41,206千円						
	○公民館職員研修会、担当者会議への参加		34千円						
	・旅費		8千円						
	・有料道路通行料、駐車場使用料		26千円						
	○地域公民館配置公用車（6台）の維持管理経費		761千円						
	・公用車燃料費、修繕料		575千円						
	・登録手数料、損害保険料		145千円						
	・自動車重量税		41千円						
○京都府公民館連絡協議会分担金		32千円		成果・課題	○市内6地域公民館の運営について、正職員である地域公民館長1人と会計年度任用職員2人の3人体制により、適正に運営することができた。 ○研修を通じた公民館職員の資質向上、及び情報共有による各地域公民館活動の更なる充実を図る必要がある。				
○AED借上料（峰山・丹後地域公民館）		101千円							
○その他経費（消耗品費）		12千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																														
	項	04 社会教育費	84,132千円		169,131千円	84,999千円	49.7 %																																																
	目	04 図書館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																														
	事業	01 図書館管理運営事業					78,181千円																																																
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金			300千円																																														
目的		生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう、様々な資料・情報を収集、整理・保存し、提供するための図書館・図書室の運営及び環境を整える。 また、子どもの読書活動推進のため、保育所・こども園、学校、地域、ボランティアなどと連携し、子どもから大人まで幅広く利用者の拡大を図るための各種行事等を企画・運営する。			繰入金	ふるさと応援基金繰入金			5,000千円																																														
					市債	社会教育施設整備事業債（合併特例債）			3,000千円																																														
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬等（委員10人、協議会2回）				65千円		＜利用状況等＞ <table><tr><td>区 分</td><td>蔵書数</td><td>年間貸出点数</td><td>（個人貸出点数）</td><td>年間貸出者数</td></tr><tr><td>峰山図書館</td><td>83,818点</td><td>64,446点</td><td>46,037点</td><td>11,046人</td></tr><tr><td>あみの図書館</td><td>107,549点</td><td>93,960点</td><td>76,235点</td><td>17,234人</td></tr><tr><td>大宮図書室</td><td>37,003点</td><td>54,936点</td><td>43,086点</td><td>8,877人</td></tr><tr><td>弥栄図書室</td><td>29,028点</td><td>29,174点</td><td>24,444点</td><td>5,825人</td></tr><tr><td>丹後図書室</td><td>29,962点</td><td>30,134点</td><td>23,239点</td><td>5,657人</td></tr><tr><td>久美浜図書室</td><td>26,104点</td><td>44,476点</td><td>35,374点</td><td>8,465人</td></tr><tr><td>（インターネット）</td><td>-</td><td>9,657点</td><td>9,657点</td><td>-</td></tr><tr><td>合 計</td><td>313,464点</td><td>326,783点</td><td>258,072点</td><td>57,104人</td></tr></table> ※市民1人当たりの年間貸出冊数：5.20冊 （個人貸出点数/R6年度末人口） ※（インターネット）：インターネットでの貸出延長処理				区 分	蔵書数	年間貸出点数	（個人貸出点数）	年間貸出者数	峰山図書館	83,818点	64,446点	46,037点	11,046人	あみの図書館	107,549点	93,960点	76,235点	17,234人	大宮図書室	37,003点	54,936点	43,086点	8,877人	弥栄図書室	29,028点	29,174点	24,444点	5,825人	丹後図書室	29,962点	30,134点	23,239点	5,657人	久美浜図書室	26,104点	44,476点	35,374点	8,465人	（インターネット）	-	9,657点	9,657点	-	合 計	313,464点	326,783点	258,072点	57,104人
	区 分	蔵書数	年間貸出点数	（個人貸出点数）	年間貸出者数																																																		
	峰山図書館	83,818点	64,446点	46,037点	11,046人																																																		
	あみの図書館	107,549点	93,960点	76,235点	17,234人																																																		
	大宮図書室	37,003点	54,936点	43,086点	8,877人																																																		
	弥栄図書室	29,028点	29,174点	24,444点	5,825人																																																		
	丹後図書室	29,962点	30,134点	23,239点	5,657人																																																		
	久美浜図書室	26,104点	44,476点	35,374点	8,465人																																																		
	（インターネット）	-	9,657点	9,657点	-																																																		
	合 計	313,464点	326,783点	258,072点	57,104人																																																		
	○市立図書館（2館4室）の管理運営費				80,810千円																																																		
	・会計年度任用職員任用経費（常勤19人、代行12人）				65,529千円																																																		
	・図書購入費（AV資料含む）				6,302千円																																																		
	・雑誌及び新聞購入費				1,395千円																																																		
	・ブックスタート事業経費（235人に実施、絵本配付）				139千円																																																		
	・Wi-Fiルーター通信料				136千円																																																		
・図書システム利用料、保守委託料、設定手数料				3,314千円																																																			
・光熱水費（あみの図書館）				2,242千円																																																			
・その他（図書装備用品等）				1,753千円																																																			
○あみの図書館空調設備改修工事				3,257千円																																																			
・工事設計監理委託料				3,257千円																																																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,855千円		1,866千円	11千円	99.4 %		課
	目	05 資料館費							
	事業	01 郷土資料館管理運営事業							
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	使用料 郷土資料館入館料 19千円				
目的	郷土資料館は、市内の主に民俗資料等を整理・収蔵・調査・公開する施設である。特色ある本市の文化・風土・伝統などを紹介し、文化財の保存活用、普及啓発を図る拠点施設として位置付けている。 また、「丹後学」など学校教育とも連携を図りながら、市内小中学生へ向けて郷土の歴史文化への興味関心を高める役割も果たす。								
主要な事務・事業の概要	○郷土資料館の維持管理、展示等に関する経費		1,855千円		【企画展示・イベント】				
	・維持管理経費 （燃料、光熱水費、修繕料、通信費）		1,080千円		期 間	企画展示・イベント等			人数
	・施設保守管理経費（貯水槽、浄化槽、消防設備）		188千円		R6.7～8	夏休みは資料館へ行こう！			24人
	・施設警備委託料		86千円		R6.7～9	夏季企画展「戦時中のくらし-紙に遺された戦争の足跡-」			45人
	・使用賃借料（コピー機借上料）		154千円		R6.11～12	秋季企画展「こどものくらし-昭和のこどもたち-」			170人
	・その他事務経費（消耗品）		136千円		R6.11.9	郷土資料館まつり			90人
	・原材料費（資料館まつり体験用）		9千円		R7.3～4	春季企画展「ひなまつり-桃の節句-」			38人
	・報償費（織機調整・実演）		12千円		【入館者数・推移】 開館日数 約150日／年				
	・食糧費		1千円		R2	R3	R4	R5	R6
	・ごみ持込処理手数料		2千円		75人	215人	321人	325人	279人
・雑木伐採委託料		187千円		※R2、R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため臨時休館期間あり					
成果・課題	○民俗資料・典籍等の常設展示のほか、企画展示やイベント等を実施し、郷土の文化について広く知る機会を提供した。 ○網野給食センターの隣接地移転に伴い、新たに食文化の展示に取り組んだ。 ○市内に分散している旧6町分の民具等の保管について、計画的に整理・集約等を行う必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	17,584千円		17,728千円	144千円	99.1 %			
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課	
	事業	02 古代の里資料館管理運営事業					15,913千円			
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	使用料	古代の里資料館入館料			599千円	
目的	丹後古代の里資料館は、市内の主に考古、美術工芸、古文書、歴史資料を収蔵・調査・公開する施設であり、本市の文化財の保存活用、普及啓発を図る拠点施設として位置付けている。 また、「丹後学」など学校教育と連携を図りながら、市内小中学生へ地域学習の場や郷土の歴史への興味関心を高める役割も果たす。				諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料			7千円	
					諸収入	古代の里資料館物品販売代金			26千円	
					諸収入	古代の里資料館書籍販売代金			229千円	
主要な事務・事業の概要	○丹後古代の里資料館の維持管理、展示等に関する経費		16,608千円		【企画展示・イベント】					
	・会計年度任用職員任用経費 計4人：古代は2人／日（資料館業務員4人、郷土資料館と兼務）		12,673千円		期 間	企画展示・イベント等				人数
					R6.7～9	市制20周年記念 企画展示1「歴史文化都市 京丹後」				559人
					R6.7～8	夏休み企画 「夏休みは資料館へ行こう！」				163人
	・維持管理経費（燃料、光熱水費、修繕、通信費）		1,866千円		R6.10～11	特別展「網野銚子山古墳と京丹後市の古墳」【前期】				754人
	・施設保守管理経費（電気設備、浄化槽、消防設備）		465千円		R6.10.27	古代の里まつり				197人
	・施設警備委託料		74千円		R6.11～R7.2	特別展「網野銚子山古墳と京丹後市の古墳」【後期】				362人
	・荷物運搬作業委託料		443千円		R7.3～4	企画展示2「丹後震災の記憶」				301人
	・使用料及び賃借料（コピー機、清掃用具、土地借上げ等）		442千円		【入館者数・推移】 開館日数 約300日／年					
	・その他事務経費（消耗品）		304千円		R2	R3	R4	R5	R6	
	・原材料費（缶バッジ材料）		9千円		1,380人	1,579人	2,454人	2,424人	3,016人	
	・備品購入費（消火器、レジスター）		72千円		※R2、R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため臨時休館期間あり					
・ごみ処理手数料等		4千円		成果・課題	○資料を適切に保管・公開し、文化財の保存及び普及啓発を図った。 ○常設展示の他、特別・企画展示、イベント等を実施し、市制20周年に市内外に本市の特色ある歴史文化をPRした。 ○開館から30年以上が経過し、施設や設備の計画的な更新が課題である。 ○網野銚子山古墳整備工事の完了や令和8年度末に予定されている重要文化財湯舟坂2号墳出土品の里帰り展示の予定もあることから、市民だけでなく観光客を呼び込む施設としていく必要がある。					
・展示関係経費（企画展示チラシ、旅費、有料道路料金等）		256千円								
○工事請負費		976千円								
・高圧設備更新工事		976千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局										
	項	04 社会教育費	10,329千円		10,329千円	0千円	100.0 %		課	文化財保存活用課									
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額												
	事業	03 資料館等指定管理施設運営事業					10,329千円												
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源															
目的	琴引浜鳴き砂文化館は、本市の豊かな自然環境のシンボルである琴引浜の鳴き砂についての展示や様々な体験事業を実施し、普及啓発を行う施設である。 また、世界認定されている山陰海岸ジオパークの拠点施設としても位置付けており、他の関連地域や施設と連携し積極的な事業展開に努める。																		
主要な事務・事業の概要	鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、琴引き浜鳴り砂を守る会が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。 ○琴引浜鳴き砂文化館指定管理委託料 9,042千円 ○使用料及び賃借料 1,287千円 ・ 駐車場用地の一部にある民間土地借上料（518.81㎡） ・ 建物の所有者である公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料				【入館者数・推移】 開館日数 約300日／年														
					<table><tr><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>6,055人</td><td>6,443人</td><td>7,692人</td><td>7,936人</td><td>8,713人</td></tr></table>					R2	R3	R4	R5	R6	6,055人	6,443人	7,692人	7,936人	8,713人
					R2	R3	R4	R5	R6										
6,055人	6,443人	7,692人	7,936人	8,713人															
※R2、R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館期間あり																			
					成果・課題	○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、「丹後学」をはじめとする市内学校の見学対応のほか、館内展示のリニューアルを行うなど、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。 ○施設修繕を計画的に実施し、適正な管理運営に努める必要がある。													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	04 社会教育費	11,282千円		11,422千円	140千円	98.7 %																	
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課															
	事業	01 峰山いさなご施設管理運営事業					10,614千円																	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	公有財産使用料			62千円															
目的	親子のふれあいや世代間の交流体験施設として生涯学習の機会を提供することにより、市民の生きがいづくり及び健康増進を図るため、峰山林業総合センター（木工体験施設）、いさなご工房（陶芸体験施設）、いさなごコート（屋根付ゲートボール場）を管理運営する。				使用料	峰山林業総合センター使用料			58千円															
					使用料	峰山いさなご工房使用料			609千円															
					使用料	峰山いさなごコート使用料			9千円															
					諸収入	峰山林業総合センター木工教室等材料代			21千円															
					諸収入	太陽光発電余剰電力料			49千円															
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費			8,663千円		＜利用状況＞ <table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用人数</td></tr><tr><td>峰山林業総合センター</td><td>138回</td><td>912人</td></tr><tr><td>いさなご工房</td><td>238回</td><td>624人</td></tr><tr><td>いさなごコート</td><td>280回</td><td>4,006人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>656回</td><td>5,542人</td></tr></table>				区 分	利用回数	延べ利用人数	峰山林業総合センター	138回	912人	いさなご工房	238回	624人	いさなごコート	280回	4,006人	合 計	656回	5,542人
	区 分	利用回数	延べ利用人数																					
	峰山林業総合センター	138回	912人																					
	いさなご工房	238回	624人																					
	いさなごコート	280回	4,006人																					
	合 計	656回	5,542人																					
	・社会教育指導員 1人																							
	・作業員 2人																							
	○管理運営経費			2,619千円																				
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）			2,054千円																				
・役務費			115千円																					
（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、廃消火器処理手数料）																								
・委託料			388千円																					
（浄化槽維持管理委託料、消防設備等保守点検委託料）																								
・使用料及び賃借料（機械器具借上料、テレビ受信料）			62千円																					
					成果・課題	施設の管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民に学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																													
	項	04 社会教育費	17,431千円		17,672千円	241千円	98.6 %																															
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																													
	事業	02 マスターズビレッジ 管理運営事業					17,365千円																															
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料			956千円																													
目的		活力のある長寿社会の実現に向けて、生きがいつくり、ふれあい交流づくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図るため、大宮ふれあい工房（陶芸、染色体験施設）及びふれあいスポーツ広場等を適切に管理運営する。			使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料			31千円																													
					諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入			4千円																													
					諸収入	社会教育事業等参加料			51千円																													
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費		13,315千円		＜利用状況＞ <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th colspan="2">延べ利用者数等</th></tr><tr><td rowspan="5">ふれあい工房</td><td>展示室</td><td>利用者数</td><td>975人</td></tr><tr><td>会議室</td><td>利用者数</td><td>272人</td></tr><tr><td>陶芸体験</td><td>体験者数</td><td>383人</td></tr><tr><td>染色体験</td><td>体験者数</td><td>365人</td></tr><tr><td>その他</td><td>利用者数</td><td>1,037人</td></tr><tr><td colspan="2">ふれあいスポーツ広場</td><td>利用者数</td><td>3,611人</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>6,643人</td></tr></table>						区 分		延べ利用者数等		ふれあい工房	展示室	利用者数	975人	会議室	利用者数	272人	陶芸体験	体験者数	383人	染色体験	体験者数	365人	その他	利用者数	1,037人	ふれあいスポーツ広場		利用者数	3,611人	合 計			6,643人
	区 分		延べ利用者数等																																			
	ふれあい工房	展示室	利用者数	975人																																		
		会議室	利用者数	272人																																		
		陶芸体験	体験者数	383人																																		
		染色体験	体験者数	365人																																		
		その他	利用者数	1,037人																																		
	ふれあいスポーツ広場		利用者数	3,611人																																		
	合 計			6,643人																																		
	・事務補助員 2人																																					
・作業員 4人																																						
○施設管理運営経費		4,116千円																																				
・普通旅費		5千円																																				
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等）		3,115千円																																				
・役務費（通信運搬費、火災保険料等）		87千円																																				
・委託料（自家用電気工作物保安全管理業務、草刈業務等）		840千円																																				
・使用料及び賃借料（テレビ受信料、清掃用具借上料等）		69千円																																				
				成果・課題	○陶芸、染色実習室、展示室、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいつくり及び健康増進に寄与することができた。 ○施設の老朽化が進行する中、施設所有者である京都府等と維持管理や運営の在り方等を協議・検討する必要がある。																																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,259千円		1,267千円	8千円	99.3 %		
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	03 たちばな会館管理運営事業					1,191千円		
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	諸収入 たちばな会館光熱水費負担金 336千円					
目的	網野町橋地区における生涯学習・コミュニティの拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに、当該施設の利用促進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○施設管理運営経費		1,259千円						
	・ 需用費（燃料費、光熱水費、修繕料）		718千円						
	・ 役務費（通信運搬費）		32千円						
	・ 委託料（会館管理業務、消防設備等保守点検業務）		509千円						
	＜利用状況＞								
	区 分	利用回数	延べ利用者数						
	会議室	37 回	327人						
	大会議室	102 回	1,113人						
	料理実習室	18 回	98人						
和室1	63 回	542人							
和室2									
多目的ホール	190 回	2,146人							
合 計	410 回	4,226人							
成果・課題	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	1,824千円		1,836千円	12千円	99.3 %			
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	04 網野教育会館管理運営事業					1,731千円			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源						
目的	社会教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに、当該施設の利用促進を図る。									
主要な事務・事業の概要	○施設管理運営経費			1,824千円		＜利用状況＞				
	・需用費（燃料費、光熱水費、修繕料）			546千円		表				
	・役務費			49千円		表				
	（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、廃家電処理手数料）					表				
	・委託料			696千円		表				
	（浄化槽維持管理業務、消防設備等保守点検業務、防火対象物定期点検報告業務、会館管理業務）					表				
	・使用料及び賃借料（テレビ受信料）			11千円		表				
	・備品購入費（講義室・事務室空調機更新）			522千円		表				
						表				
						表				
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					
					表					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	105千円		106千円	1千円	99.0 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額		
	事業	01 文化財保護審議会委員設置事業					167千円	課	文化財保存活用課
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源					
目的	文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。								
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費		81千円						
	文化財指定、市指定文化財の管理、現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため審議会を開催。（委員定数：10人） ※別途自由参加の文化財見学会を2回実施。								
	・報酬	（半日×2回、4千円×延べ17人）	68千円						
	・費用弁償		13千円						
	○両丹文化財保護連絡協議会開催経費		24千円						
	開催は北部市町の輪番制、令和6年度は福知山市で開催								
	場 所：福知山市大江町総合会館イベントホール								
	参加者：京都府北部の各市町の文化財に携わる委員及び担当職員								
	テーマ：「郷土の文化財に関すること」（令和6年11月25日）				成果・課題				
	北部市町の参加者による事例発表・情報交換等を実施するとともに、京都芸術大学名誉教授伊達仁美氏の記念講演により、災害による被災文化財とそれらの救援方法などについての知見を深めた。								
	・報酬	（半日、4千円×5人）	20千円						
	・費用弁償		4千円						
				○文化財保護審議会において、令和7年度に新規の市指定文化財を指定するために、審議会において意見を聴取し検討を深めることができた。 ○両丹文化財保護連絡協議会に参加し、京都府北部の文化財の事例や取り巻く課題について共有することにより、市の文化財や歴史文化の正確な評価を下す一助となるとともに、増加する自然災害から、文化財を次世代に継承していく術を知る良い契機とできた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	11,261千円		11,301千円	40千円	99.6 %		課
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額		
	事業	02 指定文化財等管理事業					9,927千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）267千円			
目的	市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、所有者に対し修理や保全に係る補助金を交付するとともに、市所有の重要文化財等の保存処理及び修繕を実施する。また、市内指定文化財（国、府、市指定文化財）等を適切に維持管理し、指定文化財等の普及啓発を図る。				国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（65/100）2,923千円			
				繰入金	文化財保存活用基金繰入金2,000千円				
主要な事務・事業の概要	○京丹後市指定文化財等補助事業		19件	2,999千円	○コウノトリ緊急対応関係経費341千円				
	・京丹後市指定文化財等補助金			2,987千円	モニタリング監視員設置、個体識別のための足環装着を実施。				
	・職員旅費、有料道路通行料			12千円	○丹後震災記念館絵画の補修（3か年事業の2年目）1,123千円				
	神社・寺院や覆屋等の修理、民俗芸能の道具の修理・新調などを支援。 ＜参考＞【令和5年度実績】14件、2,500千円				○丹後震災記念館耐震化・利活用検討経費834千円				
	○指定文化財等維持管理費			1,355千円	丹後震災記念館耐震化・利活用検討事業を立ち上げ、検討委員会やパブリックミーティング等を通して方針書を取りまとめた。				
	・国府市指定史跡等草刈委託料（神明山古墳ほか6件）			597千円	・検討委員会開催経費（委員8人、オブザーバー3人、5回開催）352千円				
	・文化財施設環境美化委託料（竹野神社周辺ほか11件）			480千円	・パブリックミーティング開催経費181千円				
	・文化財施設光熱水費（丹後震災記念館電気代・電話代）			37千円	コーディネーター謝金（1人）63千円				
	・消防設備等保守点検委託料（丹後震災記念館）			11千円	印刷製本費（開催広報用チラシ・ポスター）118千円				
	・雑木伐採委託料（丹後震災記念館）			110千円	・プロジェクト広報経費（東京都復興記念館視察等）126千円				
成果・課題	・文化財施設修繕料（丹後震災記念館ドア修繕等）			86千円	・丹後震災記念館内部整理経費175千円				
	・土地借上料（史跡、文化財看板設置土地借上料）			3千円	○文化財の保全のために修理等への補助金を交付し、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。 ○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行うことができた。 ○丹後震災記念館の今後の方針を取りまとめることができた。 ○史跡や周辺環境整備により、文化財保全や利用促進につながった。 ○文化財看板等の計画的な整備に努め、利便性向上と文化財の保護啓発を図るとともに、丹後震災記念館の今後についてより具体的な検討を行っていく必要がある。				
	・消耗品費（経塚古墳管理用除草剤等）			31千円					
	○湯舟坂2号墳出土金属製品保存科学処理委託事業			4,609千円					
	・保存科学処理委託料（4か年事業の3年目）			4,515千円					
	・文化庁係官派遣旅費（費用弁償）			48千円					
・職員料費、有料道路通行料			39千円						
	・事務経費（消耗品費）			7千円					

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	54,002千円		132,428千円	78,426千円	40.7 %			
	目	07 文化財保存活用費					(参考) 当初予算額	課	文化財保存活用課	
	事業	03 遺跡整備事業					131,028千円			
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）				309千円	
				国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2）				13,996千円	
				市債	遺跡整備事業債（合併特例債）				35,900千円	
目的		地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を有効に活用するため、史跡整備を推進する。 国史跡網野銚子山古墳の保存・活用に向け、令和6年度は、埴輪列一部復元、説明板等設置、休憩施設建築、駐車場・道路整備等などの環境整備を実施し、整備完了を予定している。								
主要な事務・事業の概要	○網野銚子山古墳整備関係経費		52,104千円		○史跡整備検討委員会経費					167千円
	・ 網野銚子山古墳イラスト製作謝金		150千円		・ 史跡整備検討委員会委員報酬（委員15人、3回開催）					120千円
	・ 文化庁調査官指導旅費		12千円		・ 委員費用弁償					47千円
	・ 消耗品費		33千円		○環境整備関係経費					450千円
	・ 建築確認申請手数料		28千円		・ 網野銚子山古墳周辺下草刈委託料					450千円
	・ 工事設計委託料		4,527千円							
	・ 工事監理委託料		1,121千円							
	・ 測量委託料		2,145千円							
	・ 復元品（埴輪）製作委託料		6,831千円							
	・ 工事請負費（埴輪設置工事、解説板設置工事等）		37,147千円							
	・ 水道加入負担金		110千円							
	【令和6年度整備内容】 古墳墳丘上の埴輪列復元15基、説明板6基・誘導板3基の設置、銚子山古墳から駐車場までの135m分の通路の舗装									
	○網野銚子山古墳啓発関係経費		1,281千円							
・ 職員旅費、有料道路通行料		31千円								
・ 消耗品費、印刷製本費		750千円								
・ ツアー企画委託料（日本海三大古墳巡り）		500千円								
				成果・課題	○網野銚子山古墳について、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事を進めることができた。 ○墳丘など史跡地内の整備工事は完了したものの、ガイダンス施設及び駐車場の整備については、土壌改良が必要となったため繰越事業として工事を実施することとなり、事業報告書の作成とともに令和7年度に繰越した。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	2,637千円		2,738千円	101千円	96.3 %		課	文化財保存活用課
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額			
	事業	04 遺跡発掘調査等事業					2,602千円			
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2）				1,150千円	
				府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）				575千円	
目的	市内に残る遺跡等の適正な保存・活用のため、開発に先立つ発掘調査を実施して開発事業との円滑な調整を図るとともに、状況確認のための発掘調査及びその成果をまとめる整理作業を実施し、公表する。									
主要な事務・事業の概要	○網野銚子山古墳・三宅遺跡発掘調査経費		1,679千円		○田村関遺跡発掘調査経費					551千円
	・会計年度任用職員任用経費（2人）		1,180千円		・会計年度任用職員任用経費（2人）					462千円
	・旅費（調査旅費・協議旅費）		15千円		・需用費（消耗品）					2千円
	・需用費（消耗品、燃料費）		128千円		・報告書印刷製本費（300部）					43千円
	・報告書印刷製本費（300部）		44千円		・使用賃借料（パソコン借上料）					44千円
	・役務費（し尿汲取手数料）		2千円		＜調査概要＞ 【田村関遺跡（整理作業のみ）】					
	・使用賃借料（仮設トイレ借上料）		22千円		府営ほ場整備計画に先立ち、令和5年度に実施した範囲確認調査の整理作業及び報告書作成を実施した。					
	・使用賃借料（発電機・水中ポンプ借上料）		26千円		○高山12号墳大刀保存処理経費					407千円
	・使用賃借料（重機借上料）		209千円		・高山12号墳大刀保存処理委託料					407千円
	・使用賃借料（パソコン借上料）		43千円		以前の保存処理で製作されたアクリル製の安定台の劣化により、資料とアクリル板が圧着。取り外す際に破損したため、修復等を行った。					
	・使用賃借料（有料道路通行料）		10千円							
	＜調査概要＞ 【網野銚子山古墳・三宅遺跡】									
	網野銚子山古墳の史跡整備に関連して市道を整備するため、国指定史跡銚子山古墳及び隣接する三宅遺跡の状況確認調査を実施。整理作業及び報告書を作成した。				成果・課題	○網野銚子山古墳（網野町網野）では、古墳の東側に沿った道が周溝の造成に伴う土地改変により残されたものであることの知見を得た。また、三宅遺跡（網野町網野）では、弥生土器が確認された。 ○田村関遺跡（久美浜町田村）の調査では、遺跡の広がりや遺物の状況などを報告書として刊行し、その成果を市民に公表した。 ○高山12号墳（丹後町徳光）大刀保存処理では、破損の修復を行うとともに、クリーニングや酸化防止保護膜のほか、シリコン製安定台を製作し、貴重な文化財を次世代につなぐ保存処理等を行うことができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	597千円		598千円	1千円	99.8 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	05 地域文化財総合活用推進事業					651千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源					
目的	文化庁の認定を受けた「京丹後市文化財保存活用地域計画」により、京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民遺産会議を運用するほか、京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会による進捗管理などを行う。								
主要な事務・事業の概要	○文化財保存活用地域計画推進協議会開催経費（委員15人）				131千円				
	・協議会委員謝金 2回開催、4千円×延べ19人				76千円				
	・委員費用弁償				55千円				
	○京丹後市市民遺産会議（委員5人）				182千円				
	・市民遺産会議委員謝金				56千円				
	3回開催、4千円×延7人、7千円×延べ4人								
	・委員費用弁償				12千円				
	・市民遺産周知用チラシ・ポスター印刷（全戸配布）				114千円				
	○「京丹後歴史文化めぐりマップ」運用経費				284千円				
	京丹後市文化財保存活用地域計画に示した4つの歴史文化の特徴と11のストーリーを紹介するデジタルマップ（令和5年度製作）のサーバー使用料								
					成果・課題	○推進協議会や市民遺産会議の開催、市民遺産5件の認定、京丹後歴史文化めぐりマップの運用により、京丹後市文化財保存活用地域計画で示した本市の歴史文化を掘り起こし広く周知するとともに保存活用をより一層推し進めることができた。 ○今後は、計画見直しに向けた計画全体の評価方法の検討や、認定市民遺産の保存活用とその支援策の検討、京丹後歴史文化めぐりマップの活用等をより推進していく必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	52,397千円		52,398千円	1千円	99.9 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	06 文化財保存活用基金					1千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	財産収入 文化財保存活用基金利子収入 28千円 寄附金 ふるさと応援寄附金 52,369千円					
目的	京丹後市文化財保存活用地域計画に基づき、本市の貴重な文化財の保存及び活用を進めることを目的に、「文化財保存活用基金」に積み立てを行うもの。								
主要な事務・事業の概要	京丹後市文化財保存活用基金にふるさと応援寄附金からの積み立てを行った。								
	○文化財保存活用基金積立金		52,397千円						
	(単位：千円)								
	令和5年度末 現在高 ①	令和6年度中増減額			令和6年度末 現在高 ①-②+③+④				
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④					
	34,586	2,000	28	52,369	84,983				
	成果・課題								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	381千円		385千円	4千円	98.9 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	50 文化財保存活用一般経費					329千円		
基本計画		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	諸収入 文化財関係書籍販売代金 50千円				
目的	文化財の保存と活用を図るため、資料館以外に所管している文化財の収蔵施設等の維持管理を適切に行うとともに、各種文化財保護関係団体の活動を推進する。								
主要な事務・事業の概要	○文化財収蔵施設維持管理費（5か所） 242千円 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 十楽収蔵庫（久美浜町十楽） 網野出土品収蔵庫（網野町網野） 旧成路分校（峰山町鱒留） 旧三重保育所（大宮町三重） 高嶋寮（丹後町上野） ・光熱水費、十楽収蔵庫水道閉栓手数料 34千円 ・草刈委託料 79千円 ・高嶋寮窓割・窓枠倒壊修繕 107千円 ・消耗品費（文化財保護提要代含む） 22千円				○文化財関係加盟団体負担金 90千円 ・全国史跡整備市町村協議会・近畿地区協議会 50千円 ・全国鳴き砂ネットワーク 20千円 ・全国鳴砂サミット（秋田県仙北市） 20千円 ○事務経費 49千円 全国史跡整備市町村臨時大会旅費（旅費・宿泊費） ・全国史跡整備市町村協議会臨時大会出席旅費（担当職員1人） 開催日：令和6年11月15日 東京都 内 容：陳情活動				
					成果・課題	○文化財保存活用事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保存と活用を図ることができた。 ○旧町からの文化財収蔵施設の集約を今後進めていく必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																															
	項	05 保健体育費	19,290千円	19,290千円	0千円	100.0 %																																																	
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																															
	事業	01 社会体育団体育成事業				19,290千円																																																	
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源																																																			
目的	市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う（一社）京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。 また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動及び子どもスポーツ推進事業を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。																																																						
主要な事務・事業の概要	○（一社）京丹後市スポーツ協会活動補助金 15,727千円 ・加盟団体数：18団体（2,125人） ※令和7年3月末現在 ・各種事業の実施 スキルアップ研修会の開催（令和6年7月24日、令和7年2月21日） 各競技団体の活動支援（年間） スポーツ講演会の実施（令和7年3月15日） ・市主催事業への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝） ・広報紙の発行（年3回） ○京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金 3,563千円 ・加盟団体数：60団体（児童生徒数：1,352人、指導者数：338人） ・事業内容：指導者研修会の開催、各加盟団体支援、募集チラシの発行			＜京丹後市青少年スポーツ協会 種目別加盟団体数＞																																																			
				<table><tr><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td></tr><tr><td>野 球</td><td>10</td><td>柔 道</td><td>1</td><td>卓 球</td><td>1</td></tr><tr><td>バレーボール</td><td>9</td><td>硬式テニス</td><td>2</td><td>複合(複数種目)</td><td>1</td></tr><tr><td>バスケットボール</td><td>6</td><td>ソフトテニス</td><td>2</td><td>カヌー</td><td>1</td></tr><tr><td>サッカー</td><td>6</td><td>バドミントン</td><td>2</td><td>レスリング</td><td>1</td></tr><tr><td>空手道</td><td>6</td><td>少林寺拳法</td><td>1</td><td>スキー</td><td>0</td></tr><tr><td>陸 上</td><td>5</td><td>新体操</td><td>1</td><td rowspan="2">合 計</td><td rowspan="2">60</td></tr><tr><td>剣 道</td><td>4</td><td>体 操</td><td>1</td></tr></table>						種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数	野 球	10	柔 道	1	卓 球	1	バレーボール	9	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1	バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1	サッカー	6	バドミントン	2	レスリング	1	空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	0	陸 上	5	新体操	1	合 計	60	剣 道	4	体 操	1
				種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数																																														
				野 球	10	柔 道	1	卓 球	1																																														
バレーボール	9	硬式テニス	2	複合(複数種目)	1																																																		
バスケットボール	6	ソフトテニス	2	カヌー	1																																																		
サッカー	6	バドミントン	2	レスリング	1																																																		
空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	0																																																		
陸 上	5	新体操	1	合 計	60																																																		
剣 道	4	体 操	1																																																				
※複合(複数種目)：年間を通じて、さまざまな種目のスポーツを実施する団体																																																							
成果・課題	○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。 ○一般社団法人へ組織変更から2年が経過した市スポーツ協会について、組織強化及び発展的な活動・運営となるよう引き続き支援する必要がある。																																																						

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	4,244千円		4,362千円	118千円	97.2 %		
	目	01 保健体育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 保健体育総務一般経費					3,983千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	スポーツ基本法に基づいて設置するスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ活動の推進を図る。 また、社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、全国大会等出場者激励会の開催や懸垂幕を設置するなど、優れた成績を収めた選手を讃え、スポーツ推進の機運を高める。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進審議会に関する経費		47千円						
	・審議会委員報酬：12人、開催回数：1回		40千円						
	・費用弁償		7千円						
	○第2次京丹後市スポーツ推進計画冊子印刷経費		208千円						
	・A4版・77頁、200部作製								
	○会計年度任用職員任用経費 （スポーツ推進室事務補助：1人）		3,697千円						
○社会体育に関する事務経費		243千円							
・全国大会等出場懸垂幕作成経費									
○公用車事故関連経費（車両運搬手数料、見積書作成手数料）		49千円							成果・課題

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,284千円		3,400千円	116千円	96.5 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 スポーツ推進委員活動事業					3,641千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツ振興を図る。 また、スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会や研究大会に参加する。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（50千円×48人） （1人は5月1日就任のため、月割りとし46千円）		2,446千円		<活動内容> ・ノルディック・ウォーキング体験会 年間8回、延べ184人参加 ・ニュースポーツ体験会（ビーチボールバレー、モルックほか） 年間95回、延べ1,025人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、モルック、体力テストほか） ・スポーツ大会への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか）				
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）		524千円						
	○需用費（消耗品費等） ・機関誌購読料、広報用カラーペーパー		67千円						
	○役務費（スポーツ安全保険料49人分）		86千円						
	○委託料（バス運転委託料） ・京都府スポーツ推進委員研究大会（舞鶴市） ・近畿スポーツ推進委員研究協議会（京都市）		80千円						
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）		14千円		成果・課題	○ノルディック・ウォーキング体験会、ビーチボールバレー、モルックなどのニュースポーツの普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後も、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、新たなコミュニティ組織と連携する必要がある。			
	○負担金、補助及び交付金		67千円						
	・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金		44千円						
・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金		23千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																	
	項	05 保健体育費	7,289千円		7,347千円	58千円	99.2 %																																			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																	
	事業	02 地域スポーツ推進事業					6,281千円																																			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（スポーツ・文化・スポーツ推進事業） 2,700千円																																					
目的		市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供するほか、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大とスポーツを通じた交流機会を確保する。			繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 238千円																																					
					諸収入 スポーツ大会参加料 8千円																																					
主要な事務・事業の概要	○報償費（はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金等）		23千円		＜大会等実施状況＞																																					
	○旅費		3千円		<table><tr><th>大会名</th><th>開催日</th><th>参加者等</th></tr><tr><td>京丹後市総合スポーツ大会</td><td>5/12～2/23</td><td>13競技、1,027人</td></tr><tr><td>京都府民総合体育大会</td><td>8月～2月</td><td>14競技参加、入賞7競技</td></tr><tr><td>ジュニアカヌースプリント春季大会</td><td>5/18(土)</td><td>33人</td></tr><tr><td>北近畿中学生ソフトテニス大会</td><td>6/2(日)</td><td>6市2町14校 64ペア</td></tr><tr><td>京丹後市民陸上記録会</td><td>6/30(日)</td><td>110人</td></tr><tr><td>市長杯争奪中学校野球大会</td><td>7/6(土)、7(日)</td><td>市内5校</td></tr><tr><td>パリオリンピックパブリックビューイング</td><td>8/9～8/11</td><td>延べ200人</td></tr><tr><td>ジュニアカヌースプリント秋季大会</td><td>10/20(日)</td><td>荒天につき中止</td></tr><tr><td>はしうど杯卓球選手権大会</td><td>12/7(土)</td><td>1市1町、7校、75人</td></tr><tr><td>野村克也講演会</td><td>12/14(土)</td><td>400人</td></tr></table>					大会名	開催日	参加者等	京丹後市総合スポーツ大会	5/12～2/23	13競技、1,027人	京都府民総合体育大会	8月～2月	14競技参加、入賞7競技	ジュニアカヌースプリント春季大会	5/18(土)	33人	北近畿中学生ソフトテニス大会	6/2(日)	6市2町14校 64ペア	京丹後市民陸上記録会	6/30(日)	110人	市長杯争奪中学校野球大会	7/6(土)、7(日)	市内5校	パリオリンピックパブリックビューイング	8/9～8/11	延べ200人	ジュニアカヌースプリント秋季大会	10/20(日)	荒天につき中止	はしうど杯卓球選手権大会	12/7(土)	1市1町、7校、75人	野村克也講演会	12/14(土)	400人
	大会名	開催日	参加者等																																							
	京丹後市総合スポーツ大会	5/12～2/23	13競技、1,027人																																							
	京都府民総合体育大会	8月～2月	14競技参加、入賞7競技																																							
	ジュニアカヌースプリント春季大会	5/18(土)	33人																																							
	北近畿中学生ソフトテニス大会	6/2(日)	6市2町14校 64ペア																																							
	京丹後市民陸上記録会	6/30(日)	110人																																							
	市長杯争奪中学校野球大会	7/6(土)、7(日)	市内5校																																							
	パリオリンピックパブリックビューイング	8/9～8/11	延べ200人																																							
	ジュニアカヌースプリント秋季大会	10/20(日)	荒天につき中止																																							
	はしうど杯卓球選手権大会	12/7(土)	1市1町、7校、75人																																							
	野村克也講演会	12/14(土)	400人																																							
	○需用費（消耗品費、食糧費）		280千円																																							
	○委託料		1,239千円																																							
	・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料		100千円																																							
	・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料		828千円																																							
	・京丹後市民陸上記録会運営委託料		300千円																																							
	・衛星放送アンテナ設置作業委託料		11千円																																							
	○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料）		46千円																																							
○補助金		4,320千円																																								
・京都府民総合体育大会派遣費補助金		1,500千円																																								
・京丹後市総合スポーツ大会開催補助金		2,820千円																																								
○野村克也メモリアル事業		1,378千円																																								
・野村克也講演会に係る講師謝金（赤星憲広氏、山田雅人氏）		885千円		成果・課題	市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。																																					
・野村克也講演会開催経費		143千円																																								
（消耗品費、食糧費、印刷製本費、会場使用料等）																																										
・野村克也杯学童野球大会実行委員会補助金		350千円																																								
令和6年8月に開催、参加者17チーム・280人																																										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	7,744千円		7,843千円	99千円	98.7 %			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	03 スポーツイベント推進事業					5,148千円			
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（スポーツイベント推進事業） 1,600千円					
					寄附金 ふるさと応援寄附金 2,470千円					
					諸収入 地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金） 1,360千円					
					諸収入 市有自動車損害共済金 221千円					
目的	観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。									
主要な事務・事業の概要	＜スポーツイベントの実施状況等＞									
	イベント名		開催日程	会 場	参加者等	関係予算（負担金・補助金）執行内容				
	パラカヌーサポーター講習会		7/6(土)	久美浜湾	18人	講師謝金（2人分）		155千円		
	京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会		8/4(日)	久美浜湾	94チーム、1,109人	実行委員会への補助金		1,700千円		
	第22回丹後100kmウルトラマラソン		9/14(日)	京丹後市内	2,568人	実行委員会への補助金		200千円		
						バス運転委託料		748千円		
	丹後大学駅伝（第86回関西学生対校駅伝競走大会）		11/16(土)	丹後地域	22チーム、331人	後援会への負担金		600千円		
						大会特別企画事業補助金		2,470千円		
	第58回久美浜湾一周駅伝競走大会		11/23(土・祝)	久美浜湾周辺	44チーム、321人	大会運営委託料		1,270千円		
						バス運転委託料		73千円		
	パラスポーツ体験会		12/22(土)	大宮	79人	講師謝金（4人分）		128千円		
	合 計					4,426人			7,344千円	
	○その他経費		400 千円		成果・課題	○年間を通じて、各種大会を実施し、参加者のほか、応援者、関係者等含め多くの参加者を得て、地域における経済効果及び市の魅力発信を図ることができた。 ○第86回目を迎えた丹後大学駅伝では、前年度に続きガバメントクラウドファンディングにより、青山学院大学がオープン参加した。また、地上波でのテレビ放送も行われ、中継所やフィニッシュ地点では、小中学生による応援や吹奏楽で盛り上げ、丹後地域を広くPRすることができた。				
	・消耗品費		10 千円							
	・燃料費（丹後大学駅伝）		46 千円							
	・公用車修繕経費		344 千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,182千円		2,206千円	24千円	98.9 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	04 ワールドマスタースゲームズ関西推進事業					2,864千円		
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（スポーツ外推進事業） 600千円				
					諸収入 地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金） 639千円				
目的		ワールドマスタースゲームズ関西（WMG）関連事業開催を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、障害者スポーツの基盤づくり、スポーツによる地域の活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	○普通旅費		10千円		OSUPジャパンオープン補助金 730千円				
	○有料道路通行料		14千円		＜SUP2024ジャパンオープン＞				
	OWMG関西京丹後市実行委員会運営補助金		208千円		・開催日：令和6年4月13日（土）、14日（日） ※13日（土）は、SUP無料体験会を実施				
	WMG2027関西の開催に向け、大会運営に必要な基盤整備を行うため、実行委員会の開催や、大会の周知・啓発に係る事業を対象				・参加者数：89人 ※無料体験会 43人				
	○日本カヌーマラソン選手権大会運営補助金		1,220千円		・会場：久美浜湾カヌー競技場				
						成果・課題			
						OWMGプレ大会（SUP、カヌーマラソン）を開催し、本大会に向けての競技運営に必要な運営体制等について確認することができ、今後の大会・合宿誘致に向けてノウハウを得られた。 ○2027年5月に開催するWMG本大会の知名度の向上と機運醸成に向けた取組を展開していく必要がある。			

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	61,901千円		119,292千円	57,391千円	51.8 %		
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 体育施設管理運営事業					44,367千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	社会体育施設使用料				1,427千円
				使用料	公有財産使用料				122千円
				諸収入	学校跡施設光熱水費利用負担金				594千円
				諸収入	学校跡施設点検費用等負担金				112千円
				諸収入	大宮社会体育館光熱水費利用負担金				53千円
				市債	社会体育施設整備事業債（合併特例債）				7,300千円
目的	市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。								
主要な事務・事業の概要	＜社会体育施設の維持管理経費＞			＜利用状況＞					
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）		30,755千円	紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）					224件
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取、浄化槽法定検査手数料等）		715千円	大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート）					439件
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）		16,162千円	大宮社会体育館					1,144件
	○工事設計委託料		7,821千円	網野グラウンド（グラウンド、ゲートボール場）					595件
	（社会体育館トイレ改修、久美浜中央運動公園トイレ洋式化）			網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート）					1,749件
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料）		1,031千円	丹後社会体育館					359件
	○工事請負費		5,379千円	弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、ゲートボール場）					1,509件
	・吉野体育館高圧ケーブル等改修工事		2,706千円	久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、ゲートボール場）					1,258件
	・丹波体育館高圧ケーブル配管敷設替工事		1,595千円	その他体育施設（26施設）					5,030件
	・豊栄山村広場沈砂池浚渫工事		1,078千円	合 計（43施設）					12,307件
	○備品購入費（体育館用掃除機）		34千円						
	○施設使用料返還金		4千円						
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		62,020千円					
		実質的な予算執行率		99.8%					
	■令和7年度への繰越事業			57,272千円					
	・社会体育館トイレ改修工事（令和7年10月完了予定）		44,693千円						
	・久美浜中央運動公園トイレ洋式化工事（令和7年10月完了予定）		12,579千円						
成果・課題	○施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設等見直し計画に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	1,832千円		1,876千円	44千円	97.6 %		
	目	03 体育施設費					(参考)繰越予算額	課	生涯学習課
	事業	01 体育施設管理運営事業（繰越）					1,876千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	老朽化した高圧ケーブルの更新等改修工事を行い、社会体育施設の適切な管理運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	○工事請負費		1,832千円						
	・丹波体育館高圧ケーブル更新工事		1,381千円						
	・豊栄体育館高圧ケーブル更新工事		451千円						
					成果・課題	施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。			

予算科目	款	10 教育費						本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費						1,390千円	1,471千円	81千円	94.4 %			
	目	03 体育施設費									(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業									1,471千円			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実						主な財源	使用料	小学校施設使用料			230千円	
									使用料	中学校施設使用料			211千円	
目的		地域の身近な施設である学校体育施設を開放及び維持管理することにより、市民のレクリエーション活動や各種サークル活動、青少年スポーツ教室、各種スポーツ競技団体の活動等の促進を図る。												
主要な事務・事業の概要	＜利用状況＞（単位：施設・件）								○需用費					1,096千円
	小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	1	3	16	・消耗品費（ベクトランコード、バレーボール支柱）			72千円
			利用件数	1134	682	731	298	199	522	3566	・印刷製本費（利用申請書）			128千円
		グラウンド	施設数	4	2	4	2	1	3	16	・修繕料（屋外照明灯取替等）			378千円
			利用件数	671	236	628	130	275	79	2019	【所管：教育総務課】			
		格技場	施設数			2				2	・修繕料（屋内照明灯取替等）			518千円
			利用件数			309				309				
	中学校	体育館	施設数	2	1	1	2	1	1	8	○役務費			294千円
			利用件数	603	301	186	47	313	204	1654	・支障物撤去手数料（大宮中学校カラスの巣撤去）			48千円
		グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6	【所管：教育総務課】			
			利用件数	18	241	125	47	162	50	643	・漏水調査手数料（旧吉野小学校）			242千円
		格技場	施設数		1	1	1	1	1	5	・ごみ持ち込み手数料			4千円
			利用件数		151	27	251	301	89	819				
	合計								施設数	53	利用件数	9,010		
	(参考) 社会体育用開放施設　＜全22校＞ 小学校（全16校） 中学校（全6校）													
									成果・課題	○施設の計画的な維持管理に努め、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として提供することにより、市民が楽しみとものつくるスポーツの街づくりに寄与した。 ○施設数は減少したが、利用件数は増えているため、多くの市民に活用いただけている。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,035千円		2,071千円	36千円	98.2 %		
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	03 久美浜湾加-センター管理運営事業					2,233千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源	使用料 加-センター使用料 472千円				
目的	豊かな自然の中で、カヌーを通して市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健康づくりに資するとともに、本市のスポーツ活動の拠点の一つとして地域の活性化に資するため、カヌーセンターの管理運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	○需用費 1,152千円								
	・消耗品費、燃料費、光熱水費 415千円								
	・修繕料 737千円								
	(ゴールブイ、カタマラン艇船体修繕、シャワー室LSD扉補修)								
	○役務費 2千円								
	・計量器検定手数料 2千円								
	○委託料 881千円								
	・カヌーセンター管理業務 427千円								
	・施設運搬作業（浮桟橋避難） 126千円								
	・消防設備等保守点検業務 44千円								
	・設備保守管理業務（浮桟橋、カタマラン） 284千円								
				成果・課題	施設の適切な管理運営を行うとともに、全国大会の開催など、カヌーセンターを拠点として本市のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	37,756千円		38,800千円	1,044千円	97.3 %		
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額		
	事業	02 網野給食センター管理運営事業					41,442千円	課	学校教育課
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源					
目的	児童生徒の心身の健全な発達に寄与するため、小学校4校（網野北、網野南、島津、橘小学校）、網野中学校に栄養バランスのとれた給食を提供する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費 （調理補助7人、事務補助1人、栄養士1人）		19,139千円		○備品購入費（給食用食器）748千円				
	○給食調理及び施設維持経費等		14,305千円		○浄化槽維持管理委託、浄化槽法定検査手数料1,385千円				
	・消耗品費（厨房用消耗品、ボイラー用資材等）		5,392千円		○その他経費（旅費、保険料、電気設備保守管理委託料等）1,229千円				
	・燃料費（ボイラー用灯油、ガス、配送車燃料等）		3,739千円						
	・印刷製本費（給食異動票）		71千円						
	・光熱水費（電気代、水道代）		5,103千円						
○修繕料		698千円							
・調理機器修理等		324千円							
・車両点検、車検修理（配送車3台、軽トラック1台）		374千円							
○検便検査、貯水槽、ボイラー、地下タンクの各検査手数料		252千円		成果・課題	○給食センターの施設・設備を維持管理しながら、網野町域の小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することができた。 ○新しい給食センターへ円滑に移行できるように必要な消耗品の購入等を行った。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費	257,585千円		257,725千円	140千円	99.9 %						
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課				
	事業	03 小学校給食管理運営事業					261,728千円						
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			29,000千円					
目的		児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。		諸収入	小学校給食調理機器類貸付料			6,876千円					
			市債	小学校給食備品整備事業債（合併特例債）			3,200千円						
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。			○協議会等負担金						25千円			
	○給食調理			13,739千円		○学校給食材料費支援補助金						29,118千円	
	・燃料費（ガス）			12,222千円		保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。							
	・修繕料（調理機器）			1,517千円									
	○給食調理業務委託料（網野地域を除く全12校）			210,433千円									
	峰山、いさなご、しんざん、長岡、大宮第一、大宮南、丹後、宇川、弥栄、久美浜、高龍、かぶと山小学校												
	○備品購入費			4,270千円									
	冷凍冷蔵庫1台（しんざん小学校）			711千円		成果・課題						○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。 ○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで物価高騰による保護者負担を軽減できた。	
	消毒保管庫1台（久美浜小学校）			912千円									
	スチームコンベクションオープン1台（しんざん小学校）			1,833千円									
食器（峰山、いさなご、大宮第一小学校）			814千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費	83,480千円		83,759千円	279千円	99.6 %				
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	04 中学校給食管理運営事業					86,686千円				
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金				21,000千円		
				諸収入	中学校給食調理機器類貸付料				2,004千円		
				市債	中学校給食備品整備事業債（合併特例債）				300千円		
目的		生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。									
主要な事務・事業の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。			○備品購入費						614千円	
				ガス回転釜（弥栄中学校）1台						420千円	
				検食用フリーザー（峰山中学校）1台						194千円	
	○会計年度任用職員任用経費			4,782千円	○協議会等負担金						37千円
	・調理補助員：峰山中学校1人、大宮中学校1人 報償費、期末手当、共済費、費用弁償										
主要な事務・事業の概要	○給食調理			7,080千円	○学校給食材料費支援補助金						21,417千円
	・消耗品費			586千円	保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。						
	・燃料費（ガス）			5,977千円							
	・修繕料（調理機器）			507千円							
	・包丁研磨手数料			10千円							
主要な事務・事業の概要	○給食調理業務委託料			49,550千円	成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。 ○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。 ○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。 ○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで、物価高騰による保護者負担を軽減できた。					
	・委託料（網野中学校を除く5校中3校を委託） 丹後、弥栄、久美浜中学校										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費					99.2 %			
	目	04 学校給食費	1,342,241千円		1,351,826千円	9,585千円	(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	05 学校給食センター施設整備事業					1,464,724千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）			43,007千円	
					国補	学校施設環境改善交付金（1/2）			953千円	
					市債	学校給食センター整備事業債（過疎債）			1,250,600千円	
					市債	学校給食センター整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）			4,500千円	
目的	網野学校給食センターについて、建築後37年が経過し、施設の老朽化が進行していることなどから、学校給食衛生管理基準に適合した、より衛生的で安全性を重視した給食施設とするため建替え、整備を行うもの。併せて、旧網野学校給食センターの除却を行うもの。									
主要な事務・事業の概要	○新網野学校給食センター施設整備工事		1,126,848千円		○備品購入費					203,321千円
	・手数料		383千円		・専用厨房機器、その他厨房機器、その他給食備品					
	・工事監理委託料		5,374千円							
	・工事請負費		1,121,091千円		○水道加入分担金					438千円
	建築主体工事		622,303千円							
	電気設備工事		143,590千円							
	機械設備工事		355,198千円							
	○旧網野学校給食センター施設解体撤去工事		5,100千円		■継続費設定による通次繰越額（令和6年度から令和7年度の継続事業）					
	・工事請負費（前払金）		5,100千円		・旧網野学校給食センター施設解体撤去工事（令和7年12月完了予定）					9,520千円
	○各種手数料		320千円							
・家電リサイクル、ケーブルテレビ加入、施設設備撤去、設計審査、電話設置等、廃家電処理、備品移設、備品処分										
○各種委託料		6,214千円								
・情報通信機器等設置、荷物運搬作業、備品移設、地下タンク清掃										
成果・課題	「学校給食衛生管理基準」に適合し、食物アレルギー対応を考慮した、より衛生的で安全性を持つ給食施設を整備するため、新しい網野学校給食センター建設に向けた工事を進めることができた。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	327,180千円		327,180千円	0千円	100.0 %		
	目	04 学校給食費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	05 学校給食センター施設整備事業（繰越）					327,180千円		
基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	市債 学校給食センター整備事業債（過疎債） 327,100千円					
目的	網野学校給食センターについて、建築後37年が経過し、施設の老朽化が進行していることなどから、学校給食衛生管理基準に適合した、より衛生的で安全性を重視した給食施設とするため建替え、整備を行うもの。								
主要な事務・事業の概要	○新網野学校給食センター施設整備工事 327,180千円								
	・工事監理委託料 5,000千円								
	・工事請負費 322,180千円								
	建築主体工事 188,040千円								
	電気設備工事 40,500千円								
	機械設備工事 93,640千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	518千円		528千円	10千円	98.1 %			
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	50 学校給食一般経費					1,046千円			
基本計画		26 未来を拓く学校教育の充実		主な財源						
目的		学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活弁な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	衛生管理の徹底 学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに。衛生対策管理の消耗品の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。									
	○需用費 ・消耗品費（衛生消耗品）		446千円							
	○手数料 ・調理員等検便検査 ・給食用食材細菌検査		57千円 54千円 3千円							
	○栄養士会負担金 ・京都府栄養士会負担金		15千円		成果・課題	○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安全・安心な学校給食を実施していく必要がある。				

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	項	04 都市計画費	92,459千円		92,500千円	41千円	99.9 %		
	目	03 都市公園費					(参考)当初予算額	課	都市計画 ・ 建築住宅課
	事業	01 都市公園等維持整備事業【再掲】					90,526千円		
基本計画		12 快適な都市空間の形成	主な財源	市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債）				27,000千円
				市債	都市公園整備事業債（過疎債）				23,400千円
目的	都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。								
主要な事務・事業の概要	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費		31,251千円		○峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園維持管理経費		61,208千円		
	【所管：都市計画・建築住宅課】				【所管：生涯学習課】				
	・ 指定管理委託料		15,008千円		・ 指定管理委託料		44,812千円		
	NPO法人網野スポーツクラブ（令和2年度～令和6年度）				（公財）京丹後市公園緑化事業団（令和3年度～令和7年度）				
	・ 小浜地区トイレ下水道接続工事				・ 修繕（峰山途中ケ丘公園：遊具、峰山総合公園：トイレ等）		2,190千円		
	工事請負費、監理委託		10,436千円		・ 施設維持工事（峰山総合公園空調設備更新 ほか）		3,600千円		
	その他（汚泥引抜、下水道加入分担金）		1,748千円		・ 備品購入費（峰山途中ケ丘公園陸上競技備品）		1,246千円		
	・ 海浜地区西側トイレ下水道接続工事実施設計				・ 峰山途中ケ丘公園東側駐車場整備				
	工事設計委託		2,407千円		工事設計委託		7,807千円		
	・ 修繕料（こども広場排水修繕）		1,652千円		用地購入（196㎡）		603千円		
				登記委託		747千円			
				【所管：都市計画・建築住宅課】					
				・ 用地賃借料（借上面積：1,995㎡）		203千円			
	(参考) 都市公園利用状況				成果・課題	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。 ○トイレ下水道接続や、こども広場排水修繕、遊具修繕、空調更新などを実施し、利用者の安全性や利便性を確保した。 ○峰山途中ケ丘公園の駐車場関係用地を購入し設計等を行った。			
	施設名		利用者数						
	八丁浜シーサイドパーク		28,757人						
	八丁浜有料駐車場		7,803台						
	峰山途中ケ丘公園		22,370人						
	峰山総合公園		26,868人						

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	建設部
	項	04 都市計画費	5,962千円		6,500千円	538千円	91.7 %		
	目	03 都市公園費					(参考)繰越予算額	課	都市計画 ・ 建築住宅課
	事業	01 都市公園等維持整備事業（繰越）【再掲】					6,500千円		
基本計画	12 快適な都市空間の形成		主な財源	市債 都市公園整備事業債（合併特例債） 5,600千円					
目的	都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。								
主要な事務・事業の概要	○峰山途中ヶ丘公園・峰山総合公園維持管理経費		5,962千円						
	【所管：生涯学習課】 ・ 峰山途中ヶ丘公園東側駐車場修正設計委託		5,962千円						
					成果・課題	東側駐車場整備のための修正設計を行い、詳細設計につなげた。			